京城日報
(明治三十九年八月十日第三種郵便物認可)
定價 一部金五錢 一ヶ月金壹圓 [illegible]
廣告料 [illegible]
京城太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社 電話番號長六千九百二 振替京城三〇〇
發行兼編輯人 泥谷良次郎 印刷人 小川三之介

朝鮮の歷史的觀察「二」

朝鮮佛教協會講演會席上 文學博士 黑板勝美

今申しました沖の島は丁度此邊(地圖に依る)にあるので、馬關を假に此所こしまするこ、是から朝鮮の方に往きまする此位置で、今申しました筑前の田島こ言ふ所は此邊、大島は此邊、田島この大島この島には往つて見たが、この沖は恐らく日本の島で最も潔聖が保たれて居る島であります。少し

不淨な者は

此所に來る事は出來ぬ。往つても腹が痛くなるこか或は病氣になる。そうして直歸らなければならぬやうになる。此島の中では汚い話でありますけれごも、大便小便を垂る事は出來ぬ。皆海岸に往つてやらなければならぬ。こして皆跣足にならなければならぬこ言ふ樣な神聖な島こして今日祀られて居ります。此宗像神社の神官が參りまして詰て居るのでありますが一つ困る事には、此島には港が少しもありませぬ。上陸をして居りまするこ少し風でも吹けば二ヶ月でも三ヶ月でも全く他島に交通が出來ないこ言ふ樣な有樣であります。唯一つ文明的の[illegible]中にありまするのは[illegible]ふこ沖の島には九百七十尺餘の高い山があります。此高い山が沖の島こ言つても良い。此島の一番高い所には海軍の望樓が日露戰爭以來出來て居ります。そこには

望樓の役人

が居ります、そして本島の方から海底電線が參つて居ります。若し私が沖の島に往くこ言ふ樣な事があれば直に私が往くこ言ふ事が沖の島に通ぜられるのであります。その海底電線は何所から海底に沈めてあるかこ言ふこ、是は島根縣から往つて居ります。福岡縣筑前の中でありながら海底電線が島根縣の方から往つて居る譯であります。兎に角日本の極古い時代から出て居る島であります。

一度此所へ

往つて見たいこ言ふ考へで、實は大正三年の夏に準備を致して居りましたが愈出發を致すこ言ふ時に私が不淨な者でありましたか、大風が吹いて到頭往く事が出來ませんでした其當時福岡の新聞で大に笑はれたのであります。其時に一緒に參りますこ言つて同行した者が……太宰府の神官も一緒に往くこ言ふのでありましたが、甚だ沖の島の神には不信用な譯であります。到頭沖の島には往く事を中止しましたけれごも、然し中止は致しましたけれごも、沖の島に對する自分の研究こ言ふものは其間に多少進めて見たのであります。面白い事にはこの沖の島こ言ふのは、對馬の方からの距離こ、筑前からの距離即ち大島の方からこもウ一つ長門の方からの距離が殆ご

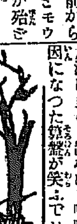
同一の地點

に在るのであります。又沖の島の附近には非常に烏賊が繁殖致しまして、烏賊漁では福岡縣で有名な所であるが、イカなる譯か、其の烏賊を漁して居る漁師は何所の者が一番多いかこ申しますこ、う言ふ方面から來るので、福岡縣の者でなくして、山口縣が憤慨して、どうか侵入して來るのを止めたいこ言つて、組合を造るこか何こか言つて頻りに私が參りました時には騷いで居りました譯であります。要するに沖の島は殆ご距離が同等であつて、而も山口縣からの方が海流の工合が良い、潮の工合良いので[illegible]付けて往くのに便利である、斯う言ふ譯で今でも福岡縣で利用しないで、他の縣から利用されて居る始末なんで先刻申した島根縣の海底電線も然う言ふ意味からでありませう

有樂町より

―東京支局―

▲大連問題も關東廳の財務課長永山君がその銀建論が通らないこいふので辭表を出して歸東するや梶原正金頭取が堂々ご署名して反對論を公表するや梅雨空のやうに煮え切らないここ夥しいが▲當の責任者の山縣關東長官などは『昨年梶原君に會つて話した時は差支無いこ贊成して置きながら今になつて反對するこは怪しからぬ』こプリ〱して居るさうな▲井上日銀總裁などは元、正金に關係があつた丈けに正金の銀建論に贊成しさうなものだが近頃此問題を評して『崖の上から河の中へ飛び込まうか込むまいかこ考へてみたのは足掛け十年にもなるが一度飛び込んだ以上は最早再び崖の上へ這ひ戻るこは出來ないぢやないか河の中で溺れさうだこ言ふなら助け船でも出[illegible]らまい』こ言つたさう[illegible]計がる銀建論者も自內[illegible]に這ひ戻る事でなく〱[illegible]にあるらしい大連の正金[illegible]さは從來の四銀建を利用して得た利益は莫大なもので正金銀行の世界中の各支店の中で利益の上り高は大連に越すものはないこいふのだから成程大分痛いここは痛いに違ひない▲張作霖が此問題に反對だこかで山縣長官などは頻りには會つて話をつけるこいふ意氣込なさうぜがまあ〱喧嘩は好い加減に止めて置かぬこ喧嘩の原因になつた算盤が笑ふでせう

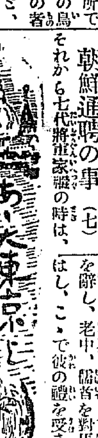


鷄林百話(五十八)

劍花坊

朝鮮通聘の事(七)

それから七代將軍家繼の時は、世が短かゞつたから、朝鮮來聘は無かつた、享保四年の九月に、八代將軍吉宗の襲職を祝賀する爲に洪致、黄璿、李彥明などが來聘したが、この時は六代の時の例に依らず、其以前の式に復した、いちぢらに白石雛ひの儒臣の細工だらう、德川氏中興の主、ます〱其無學、不見識を現した、今日から見れば、ごうでもよい話だが、小人位に當る時、常に其君をわづらはすここは、いつの世にもあるものだ、其後延享五年、九代家重の襲職に、寶曆十四年、十代家治の襲職に來賀したが、文化八年の三月十一代家齊襲職を賀すべく來聘した時は、時の總理大臣松平定信、即ち樂翁侯が、我國近來儉難云々で、江戸まで來るここを辭し、老中、儲首を對馬に遣はし、こゝで彼の禮を受させた



三

奥野他見男

その裡初心の人には水曜日こ土曜日には叮嚀に敎へるこ聽いた。それぢやこ俄に水曜日も通ふた。斯くして漸々上達して來るにつれ日曜日に大手を振つて踊るのが急に氣が極り惡くなつた、始めの間は夢中であつたから恥を恥こも思はなかつたが、漸々正氣づいて來るこ、恰も氣狂ひが本氣に返つた樣に四邊の人に對して唯何事も面羞づかしかつた。

然しオーケストラが萬物よ踊り出だせよこ計り歡興を煽り出すこ、恥も外聞も無かつた。忘れもせぬ或日、此の次ぎの日曜は祝日だから盛裝のここ、云ふ記事を見た、男子の盛裝こは?こ其れこなく訊くこ、燕尾服又はタキシードだこ云ふ。タキシードーータキシードー已れは此のタキシードに就いて少しく說明しなくちやならぬ。

曾つて友人茶谷君が洋行する時已れは横濱埠頭まで彼れを見送つた、彼れは軈て天洋丸の甲板から日の本よさらば妻よさらばこ感慨無量顏して去つて行つた所がその船に急に傳染病患者が出たので、港外に一日停泊の憂き目を見た。その時寄せた手紙の中に『今夜の晩餐には新調のタキシードで出掛ける』こ書いてあつた、タキシード?何うしても已れに解らない、タキシードつて一體何んだらうこ思ふた試みに二三の友人に訊いて見た知らぬこ云つた。それからそれへこ尋ねて行つた、すると知つたか振りの男が

『そりや夜會服のこつたよ』

こ、敎へて異れた。ホウ夜會服のここをタキシードこ云ふのかこ今更已れは自分の無識が愧しかつた。無識こ云へば已れがタキシードこは何んだらうこ訊いて歩いた連中は皆洋行こそしなけれ堂々たる紳士ばかりであつた。それ等が揃ひも揃うてハテナこ小首を傾けるんだから、彼等こて同じ矢つ張り井中の蛙ぢやつた哩。

蛙こ云へば茶谷君も確かに蛙の仲間だ、あれ程の大紳士でありながら『新調の』こ書いてある所を見るこ、今までタキシードを持つてゐなかつたものこ見ゐるそれでゐてオイ自動車ツこ一二もなく自動車に收まり返つてゐたかこ思ふこ、平生の我々の彼意がチこ過ぎてゐた哩。それからこ云ふものはタキシードこ云ふ字は頭腦の中にコビリ付いて忘れられなかつた。

そのタキシードが今思ひ出されたのだ。

已れはフロックの外持合せが無かつたので、それこなく顏馴れた男に、

『フロックか、モーニングぢや不可ないんだらうか』こ訊いた

『まさか舞踏にフロックやモーニングではねゑ』

こ、云ひながら。

『然し日本では夜會服を持つてゐる人は極く少數でせう、洋行した人でゞも無くちや』

日蓮聖訓要義 全十卷 完成紀念特賣

申込〆切 七月十日

內容見本呈進

大僧正本多日生猊下著

◇輯釋書目◇

【卷一】◇法華大綱鈔◇法蓮鈔◇法華取要鈔◇如說修行鈔【卷二】◇立正安國論◇開目鈔【卷三】◇開目鈔(續完)【卷四】◇撰時鈔【卷五】◇報恩鈔◇一念三千理事◇一念三千法門【卷六】◇觀心本尊鈔◇立正觀鈔【卷七】◇當體義鈔◇神國王御書◇救義時國鈔【卷八】◇顯佛未來記◇三大祕法鈔◇四菩薩造立鈔◇本門戒體鈔【卷九】◇法門可申鈔◇三澤鈔◇治病鈔【卷十】◇要義結果の注意◇千日尼御返事◇內房女房御返事◇刑部女房御返事◇上野殿母御返事◇道文續集要義◇附錄五大部の大精神◇日蓮聖人の大恩

◇紀念特賣規定◇

◇聖訓要義 全十卷 特價=金拾九圓 (定價 金貳拾貳圓)

各冊 特價=金貳圓〇五錢 (定價 金貳圓貳拾錢)

◇送料=內地一冊拾貳錢、十冊參拾錢。朝鮮、臺灣、樺太、支那宛は一冊拾五錢、十冊七拾五錢

◇申込〆切=七月十日

◇申込金=金貳圓

◇全額拂込〆切=八月卅一日

◇送本=全額御拂込金着金と同時に發送いたします。

◇送本順は全額御拂込順に從ひます。

全十卷の特價購讀者全部に對し日生猊下の肉筆書幅額面を進呈す。

大僧正日生猊下揮毫 肉筆 書幅 額面 贈呈

『弊閣茲に「聖訓要義」全十卷刊行の大業完成したる歡びを讀者諸賢と分つために著者大僧正日生猊下に懇囑して猊下の揮毫に係る軸額用の墨筆を賜はるの榮を得たり。依て弊閣は前掲の規定に從ひ本書十卷の特價購讀を申込まれたる諸賢に猊下の欣墨痕淋漓たる肉筆一面宛を贈呈す。これ弊閣の快擧たく能はざる處なり。希くは此の機を逸することなく陸續御申込あらんことを。』

▲右書留送料として金拾五錢を要す

東京京橋區 大阪三休橋南 大鐙閣 振替 東京三三六一八 大阪二七一五五

商業登記

[illegible]

京城地方法院開城支廳

會長 岡部子爵 顧問 下田歌子 顧問 吉岡彌生 學監 嘉悅孝子

見本無代進呈

新制 高等女學校講義錄

女子敎育三十八大家先生講義十五ヶ月さ十五圓の學費て高等女學校全科完全卒業

東京麴町區市ヶ谷見付 日本女子商業學校內 大日本婦女敎育會 電話九段三〇六〇番 振替東京五三八六四番

專賣品 新案品 發明家養成講義錄

之を養成し大發明を遂げ一攫巨萬の富を得しむ是れ我當大成の早道 敎授細目及校則ハガキ申込次第進呈 東京市小石川音羽町二三 大日本發明通信學校

御披露

新綠ノ候各位益々御淸祥奉賀候陳者當館儀御ヒイキ樣ノ御勸メニ依リ御客樣本位ニ營業仕リ度就テハ從來ノ御客室ニテハ狹隘ヲ感ジ此度全部居心地善ク新築致シ出來得ル限リ御待遇申上ゲ以テ從來ノ御恩顧ニ報ヒ度存候何卒舊ニ倍シ御引立ノ上御來館ノ榮ヲ賜リ度偏ニ希上候

尙弊館ハ湊町驛道頓堀ヘ半丁商取引ニハ至便ノ位置ニ御座候

大阪市南區道頓堀大黑橋北詰東ヘ入濱側 吉岡旅館 電話長南三六〇番 四二一四番

パイン萬年筆
事務用ビジネスペン
カタログ進呈 京日代理部

戯曲 大無量壽經の血

高木久沙彌作

四六版百五十頁特紙裝幀 紙質無類 上天金函入 定價壹圓五拾錢 送料內地十八錢

◆全國書店にあり 東京市京橋區釆女町十三番地 電話銀座六二九番 振替東京五三六四六 高木商店出版部發行

初版一時間にて賣切 忽三版

▲十三年間苦悶し、適從する處を知らずして旬佛上人より剃髮を受けて僧とまでなりし作者が、人を愛せよ、絕倫の精力を養ふて、無限の活動をなせとの解決に到達したる煩悶解決史なりと云へり。

▲大乘佛敎の眞理を說ける點に於て價値法華經と上下なく、說方法華經より徹底せりと見らるゝ大無量壽經を、貨行方法を說ける點に於て、之を戯曲に書き改めたりと云へり。

▲極樂を肯定し又極樂を否定する釋尊、アナンの戀、フルナの自由、クチラの自我を否定する釋尊を畫きたる作者は、釋尊を冒瀆したる罪によつて地下に八裂の刑に遭ふか、釋尊を闡明したる功によつて至上の報を受けんと云へり。

馬

第一卷第五號競馬號愈々出來!全國競馬記事滿載 傳覽會戰績
●懸賞論文募集 ◎大懸賞 農馬に關する(題は自由)六月三十日迄に前金添へ御申込の方に限り一部廿五錢 半年分壹圓貳拾錢 年分貳圓五拾錢 七月より半年分壹圓八拾錢に改正す 即時申込を乞ふ

東京市神田區通新石町九 馬事研究會 振替東京二七七九一番

京城本町一丁目(郵便局横) 中村眼鏡店 電話二一七番 振京三四六番

內地人 寫眞見習生募集 年齡十五歲以上 要保證人 京城日報庶務部

糸左近先生著 脚氣の療養

定價金壹圓 送料六錢 東京神田通新石町六 振替東京二一二三番 朝香屋

死線を越えて

賀川豐彥著 ◇◇四六版函入 天金美裝◇◇定價金參圓 送料金拾八錢 (八拾參版)

本書は我國に於て其發行の最大記錄をつくつた。七ケ月に滿たずして八十三版を重ねた。本書の著者が貧民窟にありて貧窮と思傷と疾病の間に圍まれながら彼等に道を說く姿は全く此上なく壯嚴で、そして聖者の生活である。此人の戀愛に對し、社會に對し、貧民に對する實錄とも見らるべき、本書は無限の愛と限りなき感激に滿たされて、一讀卷を掩ふて泣かしむる者がある。

レーニンとトロツキー

山川均著 ◇◇最新式機械裝 四六版頭齋◇◇定價壹圓九拾錢 送料金拾貳錢 (最新刊)

彼レーニンの存在は世界の驚異であり、現代の恐怖である。そして彼の半生は悉く奮鬪の歷史であり、血と涙の歷史である。その流刑中の艱み、亡命中の忍苦は大男兒の心腸を抉つて血涙の潸々たるものがある。我が論壇の權威たる山川君は彼レーニンとトロツキーの經歷を詳說しつゝ、辛辣骨を刺すの筆を以つて痛快にその事業と人物とを解剖した。正にこれ初夏第一の好讀もの也。

嵐の前

中澤臨川著 ◇◇四六版函入 天金美裝◇◇定價金貳圓 送料金拾貳錢 (好評八版)

我が情熱の思想家として知られた臨川氏が、天才的大哲學者ニイチェの青年期の苦悶を描いた小說である。彼ニイチェが失戀の悩ましい苦惱を抱きしめながら、旅から旅へとさすらひ步く姿は世にも哀であるが、しかしその失戀の苦悶を藝術へと……邁進したところは深き感激に咽ばしめる。市中の駄小說に飽いたものは、須らくかかる有數の作品を一讀して高潔なる氣魄を養へ。

◇東京芝區櫻田久保町 改造社 振替東京八四〇二番

朝鮮總督府參事官法學士 萩原彥三先生新著

最新刊 朝鮮行政法

▲菊判全一冊(總論各論) 定價金三圓二十錢 送料十五錢

發行所 京城本町 大阪屋號書店 振替京城一五七二

賣捌所 京城本町 巖松堂書店

清心丹

頓入卅錢 桐函入德用 壹圓參圓五圓 紙入五十錢 廿錢十錢

適酒食 嘔吐下痢 船車暈 諸の場所の不快等の豫防藥 口中清凉 氣分爽快 胃腸を健にし 惡疫豫防に効有り

東京日本橋元大坂町 高木與兵衛 本舖 振替東京 六八

京日案內

女給 仕入用 尋常科卒業年齡十五六歲 京城黃金町二丁目五十五番地 東京建物株式會社京城支店

醫師 得業士三十九歲京城以南ノ地ニ就職又ハ開業地ヲ求ム 京城府西大門外阿峴里 近藤

社員 內地人にして相當學歷あり品行方正身體壯健年齡三十歲迄二名採用す履歷書携帶本人乞來談 紐育スタンダード石油會社

社員 募集 希望者は自筆履歷書携帶午前中來談あれ 京城黃金町二(電二三五〇) 布哇生命保險會社

恩給 類取扱 低利即時立替 從來取引の方には滿三年半迄 候 京城古市町三五 江州屋本店假營業所

ほね つぎ うちみ くじき 一切の治療御依賴に應ず 京城明治町二丁目 柔術道場

古本 高價買入御報次第早速參上可仕候 京城本町二丁目 電話參參四八 文光堂書店 振替參參七〇

ほね つぎ うちみ くじき 治療 京城旭町一丁目上る中島印刷隣 荒川仁醉堂 電話貳二六八番 ○元明治町ヤソ教前に開業

藥局 生入用(男女を問はず) 希望者は至急來談あれ 仁川小倉內科小兒科病院

讓店 京城本町通り日拔き場所西洋雜貨店居拔ノ儘御讓リ度シ又ハ家屋店舖丈ケニテモ御相談ニ應ズ 姓名在社

金融 月收の方に十ヶ月以內の月賦信用貸秘密厳守百圓以上 擔保貸は六分 京城御成町四六 大和屋 電話二五一八

賃借 ピアノ賃借致シタシ目下ピアノ所有セラルル方ニテ賃貸御希望ノ方ハ左ニ御通知下サレ度シ 社內 三角

集金 事務員募集 四十歲以上市內ニ確實ナル保證人アル者 南山町二丁目一九 秋吉店

小店員 募集 十五六歲三名月給制優遇ス希望者ハ履歷書送レ保證人ヲ要ス 春川 大和屋呉服店

最新刊

赤沼智善著 阿含の佛敎 一、〇〇〇
三枝茂智著 支那の外交財政 三、八五〇
宮森麻太郎著 近代劇大觀 七、五〇
野村隈畔著 文化主義の研究 二、二〇〇
山川均著 レーニンとトロツキー 一、九〇
德富猪一郎著 豐臣氏時代 丙篇 二、三〇〇
南滿洲鐵道株式會社京城管理局 朝鮮鐵道旅行案內 一、二〇〇
中村正直譯 西國立志編 一、六五〇
ハウプトマン作選集 二、四二〇
日本を見る 二、六四〇
魂の憂ひ 三、八五〇

京城本町一丁目 大阪屋號

日英同盟と林大使
米國に對抗する爲にあらず

【倫敦二十二日發電】駐英林大使は英帝國議會に於て發表されたる日英同盟に關する各代表者の見解に滿足の意を表し大使は曰く日本政府が日英同盟を以て米國に對抗せんとする意なきことは云ふ迄もなく又日本は米國との親交を絶對的に必要とす日本は又支那側の列强と對等の地位に立たんことを希望しつゝありと林大使は又スマッツ將軍の軍備縮小論に贊成なる旨を述べたり

英外相議會に演説

【倫敦電報】英國外相カーゾン卿は二十二日開會の議會に於て長時間に亘り政府の外交方針を演説したり

濠洲勞働黨同盟反對

【メルボルン二十二日發電】濠洲勞働黨は會議を開き日英同盟更新繼續反對の決議をなしたり

米國艦隊編成
大平洋と大西洋艦隊

【紐育二十二日發電】海軍卿デンビー氏は昨日太平洋及び大西洋兩艦隊の編成變更を發表したるが主力艦は多く太平洋に集中され從つて太平洋艦隊は遙に大西洋艦隊より强大となれり此の變更は表面上の理由は一に經濟上の目的に促されたりと稱せらるゝも實際に於ては深き策戰上の重大なる意義あり即ち布哇比律賓其の他遠く散在せる米領に對する防備を嚴にするなりとも云ふ

米陸軍豫算可決

【華盛頓二十二日發電】上院は下院との妥協點を承認せる結果陸軍豫算案は此處に圓滿なる解決を告げたり可決されたる法案は約三億二千八百萬弗を計上しあり

東露に海軍根據地獲得

【紐育二十二日發電】ワシントンヴァコダーリツプ氏露國よりの歸途オリンピック號にて到着せり氏の斷言する所に依れば彼れは米國の爲西伯利に於て二個の海軍根據地を得たり其一はオヴァーチア灣なり彼れは同灣は北太平洋への入口を統禦するものなりと云へり第二は油斷所德に近し『亞米利加は凡て英國の海軍根據のため包圍せられ居り余は過激派政府より米國に之等根據地を永久に與ふる許可を得たり政府にして之等二港を然るべく武裝せば全太平洋を統禦するに足るべし』と云へり

東支長官燃料策

【浦鹽電報】東支鐵道長官は密山附近に新なる炭坑の經營を企圖し又燃料の單價を低減せしむる爲に所有手段を講じつゝある樣であるが即ち札來諾爾炭坑の租借契約の更新が理事會の容るゝ所とならないので目下東支株主總會に訴へんとしつゝあるが如く又一方同長官が薪供給者と價格の低下を商議しつゝあるが他方には貯蓄燃料の豐富なるを示し且つ滿鐵への送炭を繼續して薪値下の氣勢を促進せんとしつゝあるが如きは其の一例である要するに長官は石炭の使用を節約し其の不足は薪に依らんとし又新炭坑の經營に依つて自給自然の策を立てんと想像して居る樣で差當り薪の購入契約が成立せば撫順炭の供給は著しく低減せられ從前の一年一千萬布度の送炭量が其約三分の一弱に下るだらうと想像せらる

米人金山經營風説

【浦鹽電報】嘗て噂のありたる米國人『メーニング』一行は豫て購入したる庫倫附近の金山經營の爲近く自動車にて滿洲里より同地方面に赴くべしと傳へらる

米支共同檢查所
生糸取引所も設置

【上海二十三日發電】米國絹育生絲檢查所代表及び技師四名は六月十三日既に米國を出發して上海に向ひたるが上海と米支共同生絲檢查所を設立する計畫を實行すべく又生絲取引所の設立に援助すべき旨當地生絲商組合に電報し來りしより當地支那生絲商は多額の借入れを爲し檢查所設立の準備を爲し且米國生絲檢查所員の歡迎に就き昨日協議せり

馬賊横行

黒龍州共產黨横暴

【浦鹽電報】黒龍州に於ける共產黨一派は將に來るべき地方會議員の選擧に勝利を得んか爲盛に運動して自黨の信用を得んと努めつゝありと云之が爲反對黨に對する壓迫は實に甚だしく或は反對黨代表者を逮捕するとか或は其集會を禁ずるとか干涉到らざるなき模樣である。

湖北に復々兵變起る

【上海電報】湖北武穴に兵變起り九江附近全國に對し戒嚴令發布されたり

王占元氏辭職電請

【北京電報】王占元氏は再び兩湖巡閲使並に湖北督軍の兼職を辭すべく中央に電請したり

明年度陸軍豫算
總計二億六千餘萬圓

陸軍省の十一年度豫算編成概算書は卅日頃大藏省に廻附の筈なるが消極的の編成をなし大體十年度と大差なく新計畫は騎兵旅團の朝鮮國境移轉希望にて臨時計上二億六千餘萬圓なり(東京電報)

國際聯盟事務總長
松田道一氏任命

ゼネバに新設さるべき國際聯盟事務總長として巴里に滯在中の松田道一氏を任命するに決せり近く右に關する官制公布さるべし(東京電報)

山公參內

山縣公は二十三日午前十時四十五分參內表御座所に於て天皇陛下に拜謁し賜はり御還京後の天機を奉伺し種々御下問に對し言上を爲し夫れより皇后陛下の御機嫌を伺ひ終りて牧野宮相正親町侍從長と會見して退出せり

華族保護賜金

華族保護賜金委員會は二十三日午後一時より宮內省會議室に於て協議したるが恩賜金分配に就き種々打合其の結果牧野宮相に報告し內藏寮を經て夫れ〳〵下賜せらるべし(東京電報)

石油問題協議
各省主腦會合

農商務省にては二十四日午後一時より燃料主として石油問題に就き各種の打合協議會開催する事に決し出席者は農商務、陸軍、海軍外務の各首腦者なりと(東京電報)

海軍燃料補充

海軍省は內地燃料油不足を補充する一策として更に波斯油二萬五千噸を買入の契約をなし更に又メキシコ重油二萬二千噸を購入に決せりと(東京電報)

本郷大將辭職
近日中發表

軍事參議官陸軍大將本郷房太郎氏は後進の途を開くため遂に辭意を決したり近く發表さるべし(東京電報)

稅制整理調査

財政經濟調査會稅制整理特別委員會は地方稅に關する小委員會を二十二日午後四時より首相官邸に於て開き鄉委員長以下十八名出席協議の結果略成案を得たるが二十三日も引續き開會具體案決定すべしと(東京電報)

春日氏脫黨
政友會入會

憲政會代議士春日俊文氏は二十三日突如脫會し政友會に入會せり(東京電報)

貴族院の政局觀
研究會は敵本主義に追隨せず
貴族院議員 子爵 青木信光氏談

刻下の我政局に關し這般の山縣大隈兩公侯の會見並に山縣加藤公子の會見を中心として昨今種々の揣摩臆測行はれつゝあるが果して現在の我政局が世間傳へらるゝが如く特に山縣大隈公侯の如き元老の蹶起を要するの事態に瀕せりや更に又或一派の人々が期待する如く兩老の會見により綱紀問題を中心として

政機轉換 の雲行ありや否やは判斷し得べきものにあらず故に時局が果して斯かく進展しつゝありや大に疑ふべきものなしとせずされば此際に於ては徐に

事實の上 に就き成行きを注視するの外なし然れども一部論者の主張するが如く滿鐵問題、阿片問題、郵便問題等の不正事件を以て直に內閣の責任なりと做し其倒壞を謀るが如きは少しく政爭に走るの嫌ひなきにあらざるか殊に去る十八日築地精養軒に於ける所謂綱紀肅正大會席上に於て

其決議を 以て我が研究會を非難したるが如き全く謂はれなきことゝ云ふべし綱紀肅正のことに就ては政府自ら大に之を飭し總ての不正事件に對しては徹底的司法權の發動に依り忌憚なく之を摘發檢擧して以て大に綱紀の肅正革新の實擧がるに至るべしとされば本問題を以て强いて

政府倒壞 の具と爲すが如きは思はざるの甚だしきものと云ふべし勿論國民一般が斯る事件の發生を喜ばざるは云ふ迄もなき所ならんも事今日となりては歴然たる綱紀肅正の事實だに擧がらば國民は以て滿足すべし而して我研究會としては未だ此事に關して何等

具体的協 議を行はず從つて會員中如何なる意見を有するものあるや不明なるも綱紀肅正の趣意に大贊成たるは云ふ迄もなし然れども之を以て直に內閣の責任問題と做す一派の敵本主義の運動には遺憾ながら追隨する能はざる也聞する所に依れば幸三派にありては近く宣言決議を

天下に發 表し或種の具體的運動を爲すべしと云へば或は我研究會に對しても何等かの交涉あるやも知れず研究會として如何なる態度を取るべきかに付き近く常務員會を開くに至るべきも要するに上述の如く政爭の渦中に投ずる如きは斷じて爲さずと信ず云々(東京電報)

總督動靜
廿六日元山

齋藤總督は二十三日午後二時官民多數の出迎へを受けて會寧に著し小學校生徒の前にて自動車を下り兒童の頭を撫し愛想を振蒔きたり市中の警戒は嚴重なり記者に對し今日の咸北としては淸津又は城津の築港よりも咸鏡線の速成急務なりと語れり總督は二十五日淸津出發羅南と雄基を視察し二十六日元山へ向ふべし二十二日夜主なる官民を招待し晩餐會を催せり(會寧特電)

齋藤總督

齋藤總督は豫定を變更し二十四日鏡城に行く筈(會寧電報)

總監視察

水野政務總監は廿一日午前伊藤秘書官を隨へ原土木部長鐵道部長の案內にて鷺梁津水道水源地及滿鐵龍山工場を視察せり

我輩の政局觀
山崎代議士談

廿三日朝着列車にて京城へ向つた政友會少壯代議士山崎猛氏は發車前の車中にて語る

朝鮮も最近內地の政事家學者實業家連に觀察せられ稍認められて來た樣ですが未だ三度の白いお飯よりもすしや栗飯と云つた樣に素に挫折の腹加減により物珍しけに味はれる風でほんの通り一遍の汽車の窓やホテルのカーテンの隙から物見越しに伺はれて

皮相の觀 其儘を誤傳される樣では甚だ寒心に堪へない『昨年以來今にも我が黨內閣を投げ出しそうな風說が喧しく丁度一ヶ年の中いや臨時議會開會前だの何のと前後七回も噂にのぼり現に新聞では此九、十月頃だらうなど、豫想的に後繼內閣の下馬評が彼れ是れ傳へられている樣ですが仲々明け渡しそうにもない樣で原さんの後を田氏が襲ふ默契が成つているだの和製ルーズベルトの

後藤男を 昇つぎ出すとか加藤總裁が憲政黨內閣を組織するなど種々の揣摩臆測說が流布せられている樣ですが私一個の人物評としては田氏は成る程閣僚としては確かに二三人前の役割を演ずる敏腕家ではあるが首相の位置にたつて內閣を抱擁總括する手腕に至つてはどうだか頗る疑問です後藤新平さんに至つては一世紀遅れたやまっこの大政治家さんでそれにあの人の癖として

廟を借り て主家を取ろうと云ふ野心が深いので仲々油斷がならず、加藤氏は流石に政黨の領袖として資格に申分はないが憲政內閣當時の行懸り上西伯利亞問題は姑く措き對支對米の兩外交に就ては餘りに約束手形の振出し樣が亂發な爲め充分の裏書が出來ない不利の立場にあり、且氏が持論の政友會提案と五十歩百步の

普選問題 を實施せんとすれば必ずや貴族院に於て多數の猛烈な反對を買ふは一目瞭然で之れ亦後繼內閣を背負つて立つ事は當分至難であらうと思はれる綱紀肅正に名をかりて非望の內閣の乘り取りを講じてゐる小田原の山公の固まりである官僚軍閥の權化で藩閥思想の想像する樣なお歴々では到底立たない元老も

官僚も軍 閥も疾うに凋落した時代である、殊に空中樓閣を描かれつゝある似て非なる中間內閣の如き組織のものが組織されんか我々少壯派は黨の如何を問はず絕對に反對である、立憲政治の要諦は一旦これ正確是なりとの方針が樹立されたら以上堂々と行詰る迄は政治を行ひ一朝國民の興望を失へば、潔く他の政黨に城を明け渡す臆病の心懸け未練を有せぬ武士的の覺悟がなくてはならない』云々(釜山電報)

惡疫と現下の急務
中野平南警察部長談

前日來天候鎭に投宿中なりし中野平南警察部長は二十三日午後十一時南大門發列車にて歸任せるが其談に曰く

衛生當路者の頭腦を惱ますべき惡疫流行の季節が迫つて來た、如何にして惡疫を未前に防ぐかは萬人の心を須ゆべき問題である、衛生思想普及の肝要なるは固よりだが惡疫流行の源は所謂下層階級にあるのであるから先づ彼等をして能ふ限り僅少なる費用によつて

醫藥に就 かしむるの方法を講ずるに若くものはないと思ふ、現在平安南道に於る醫師醫生の數は五百六十餘名を算ふ人口三十三萬六千餘名であるから醫師一人當二千十餘人の割合となるが醫師醫生の多數は勢ひ都邑地に集團するの結果僻遠の所在の住民に至つては殆ど此餘澤に預かり得ないのみか

無智窮乏 にして醫藥を求めざるは勿論徒らに迷信を事とするの現狀なるを以て一朝惡疫の發生を見るに至らんか一瀉千里の勢ひを以て其流行を擴大せしむるの怖れがある、此は敢て平安南道のみと云はず他の道內に於ても例に乏しからぬ所であつて現下の最大急務なるものが實に此窮民の救助にありとする所以である、そこで

我道內に 於ては差當り一時凶に應じ得るだけの食料千餘種を駐在所に備付適當の方法によつて之を民衆に周知せしめ同時に窮民に分與するの方針を執る考へであるが更に又醫師醫生等を求むるに不便なる地に對しては慈惠醫院の巡回診療を始め進んで公醫の利用を大にし

民衆診療 上の便益を圖らしむと共に衛生思想の改善に努める方針であるが夫れには郡部主要部落數ヶ所を選み每月約十日間位公醫を出張せしめて衛生講話を爲すの外一般の診療に從事せしめやうと云ふ目論見であるが此際費用の不足する場合は多少國庫より補給を仰ぐ考へだ云々

京畿道の宣傳
廿五日殖林講話

京畿道では二十五日午後七時から淸凉里總督府林業試驗場に於て地方民二千名を集め掛場技師以下道職員高陽郡守楊州郡守崇仁面長等殖林に關する講話を爲し續いて林業關係內地事業等の活動寫眞及幻燈を映寫し殖林及保護に關する大宣傳を行ふべく多數の參集を望むと

稅關長會議
河內山局長訓示

稅關長會議第一日は二十四日午前九時半より總督府第二會議室に開催河內山財務局長より訓示あり打合及び報告あり午後も續行せり

郵便所長會議

既報の如く忠南地方郵便局所長會議は來る二十五、六の兩日間鳥致院郵便局に於て開催京城局よりは加納局長及古田書記臨席過般分掌局長會議に於ける總督及遞信局長の訓示を傳達する由因に同會議の協議事項は郵便所長會議規約及郵便所廳舍改良規約に關する件なりと

佐藤北大總長
大島博士同伴

北海道帝國大學總長佐藤昌介博士は臺灣視察の途次朝鮮の大學の狀況視察の爲め北海道農事試驗場長大島博士と同道して二十三日夕對島丸にて上陸鐵道ホテルに少憩同夜十一時にて北行せり途中慶南其他の大學演習林を視察して二十五日夜京城に入る豫定なり(釜山特電)

神職講習會
水野總監訓示

朝鮮に於ける神職の向上發達を圖る爲め去る二十日より二十七日迄八日間京城神社の金光宮司及び李王職の今村庶務課長其他を講師の下に京城俱樂部に於て神職講習會を開催中なるが昨二十三日午後一時一同打揃うて總督府を訪問し水野政務總監より神職としての心得等に就き一場の訓話を受けたりと

醫專問題未決
生徒一同召集

二十四日中に解決を見る筈なりし京城醫專生徒紛擾事件に關する父兄側代表者と學校側との交涉一件は二十三日午後に於ける父兄協議會の結果二十四日午後更に府內私立良黨學校に生徒一同を召集して懇々と訓戒を加へ生徒中猶不服を唱ふる者あらばそれ等に對する處置は別に講ずることゝし能く了解の出來た者だけは早く復校のことに交涉して解決を急ぐとのことである

畜牛改良獎勵
京畿道の通牒

畜産の改良上一番必要なのは各個體の能力と體格の新舊比較であるが豚と鷄とは改良種を獎勵品種として居るから自然在來種との區別が判然して獎勵上甚だ好都合であるが畜牛の方は朝鮮種其ものを改良しつゝあるので從來相當の實績を擧げつゝあるにも拘らず同種改良の關係上具體的に新舊を比較することが出來ないソコで本年より將來三年每に畜牛の能力、外貌及體格を調査しこれを基礎として將來改良を圖ることに決し此程京畿道內務部長は各郡宛て其調査方に就き詳細通牒を發し今後實施することにした依つて此調査が完成すれば朝鮮牛の改良上最もよき參考になるであらう尙調査用紙は京畿道廳で印刷の上各郡へ配付する豫定で目下準備中なりと

牛疫禁止解除

咸鏡北道穩城郡穩城面柔面に於ける牛疫は五月三日初發以來十四頭を算したるも六月九日以降發生を見ざるに付既に潛伏期間も經過せるを以て二十五日官報を以て牛疫の出入禁示を解除さるゝ事となりたり

滿鐵總會見物
『下』 東京支局 一記者

▲松本博士此日の演說は無慮一時間半、縷々條理を盡し精細を極めたもので防禦軍の首將として鮮かな御手際であつた。裁判所へ出る前の練習だらうなど、失禮なことをつぶやく株主もあつたが、會社側の見解と態度とは此日の副社長の演說ですつかり世間に公表したやうなもので相撲ならば押れながらもひねつて打捨やりを打つたやうなものだ

▲會期の間には往々挑戰的な詰問も見られたが併し大體に正直な打ち明け話で、本期の增加純益三百萬圓は主として、經費の節減によつたもので、それから今一つは銀の暴落のお蔭を蒙つたものである、などは正直な告白ではあらうが半面から言へば滿鐵が積極的に事業の發展から得た利益は一つもなくて消極的の整理と、偶發的の原因で僅に此數字を生み出したとの論も出るとか言ふことで一株主は『鮪配當は御免を蒙る、鮪配當は背任行爲ではないか』など、怒鳴つて居た

▲結局撫順炭礦の買收は鞍山站に製鐵所を設置した當時からコークス製造の必要より生じたもので且つ撫順炭坑の炭礦を保護するためにもその必要があると云ふやうなことから段々とした說明に株主連、且つは滿足し且つはしびれを切らし、梅部等三名の株主から反對を固執したにも係はらず四時半、何事もなく原案を承認し散會したるのは先づ〳〵上出來。

堆肥改良獎勵
京畿道の補助

京畿道では從來地方の事情に應じて金肥(化學肥料)殊に大豆粕の施用を奬勵して來たが大正八年には其消費額十九萬九千百六十貫此價格三十四萬一千三百五十圓の多額に上つた然るに一面これ等の金肥は其取扱ひ及施用法が便利な爲めに

作物の基 礎肥にして地力の維持增進上必要缺くべからざる堆肥(牛馬の糞尿や草木の若芽を積んで造つたもの)の如き自給肥料を閑却する傾があるので京畿道でもこれを顧慮し地方從來から補助金を下附して前年度に於ては高陽郡本年度に於ては廣州郡外十箇郡に堆肥品評會を開催し極力品質の

改良と增 殖に努めつゝあるが管內でも金浦郡高村面香式氏が熱心に之が改良增殖を主唱し部落百二十戶中家畜を有せない二三のものを除く外擧つて郡當局指導の下に完全なる堆肥の製造をなせる等漸く自給肥料の必要を自覺する機運に向ひつゝあり

京城市外電話

六月中央に於る京城郵便局扱市外電話通話數は龍山への七千七百四十回を第一位とし仁川への三千十回之に次げるが其他は永登浦及水原各百八十五回春川百五十回開城百十二回釜山及大邱九十七回にして平壤は百八十回に及べりと

佐藤總長來鮮
廿五日入城

北海道大學總長農學博士佐藤昌介氏は朝鮮農業狀況視察の爲二十五日午後七時四十分龍山驛着入城龍山滿鐵社宅川江工務課長邸に滯在すべしと尙ほ同大學教授大島金太郎氏も來城すべしと

總督夫人招待

齋藤總督夫人は廿五日午後四時半より總督府各局長夫人を總督官邸に招待し茶菓の饗應あるべしと又同日零時半より朝鮮貴族夫人及內地人夫人廿五名を官邸に招待すべし

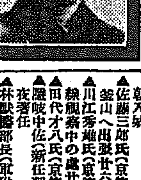
辭令

任總督府理事官(七等) 總督府屬 長尾 仟
京城府在勤を命す
任總督府道理事官(七等) 總督府道屬 土屋 格太
慶尙南道在勤を命す
任總督府營林廠技師(七等) 總督府營林廠技手 加藤 四郎
任總督府醫院事務官(七等) 總督府屬 阪本直一郎
兼任總督府醫院事務官(七等) 京城醫學專門學校書記 吉田彌五右衛門
任總督府專賣局副事務官(七等) 總督府專賣局書記 福西文次郎
任總督府道慈惠醫院醫官(三等) 陸軍二等軍醫正 花井 善吉
全羅南道小鹿島慈惠醫院長を命す
任龍山中學校教諭(七等) 公立中學校教諭 齋藤 文治
任平壤公立高等女學校教諭(七等) 平壤公立高等女學校教諭 丸本正太郎
任大邱高等普通學校教諭(八等) 大邱高等普通學校教諭 楊 在 洪
任總督府道事務官(六等) 總督府事務官(統計課長) 田中 三雄
咸鏡南道財務部長を命す
任總督府事務官(六等) 總督府道理事官(咸鏡北道) 甘蔗 義邦
總督官房土木部勤務を命す
任總督府道理事官(六等) 總督府遞信副事務官(京城郵便局監督課長) 池田 魁
咸鏡北道在勤を命す
總督府技手(土木部) 倉橋 鉎
總督官房庶務部統計課長を命す 總督府道事務官(咸南警察部長) 永野 淸
任總督府稅關長(五等)
仁川稅關在勤を命す 總督府事務官(警務局) 藤原 喜藏
任總督府道事務官(五等)
咸鏡南道警察部長を命す 總督府道事務官(京畿道財務部長) 井上 主計
任總督府事務官(五等)
總督府財務局關稅課長を命す 總督府道事務官(咸南財務部長) 佐藤 榮三
任總督府專賣局事務官(四等) 總督道理事官(京畿道) 穗積眞六郎
任總督府道事務官(五等)
京畿道財務部長を命す 總督府稅關監視官兼稅關事務官 中島 覺之
任總督府道事務官(六等)
平安北道財務部長を命す 總督府事務官(關稅課長) 林 繁藏
財務局司計課長を命す
朝鮮關稅訴願審查委員會幹事被免 總督府事務官 井上 主計
朝鮮關稅訴願審查委員會幹事被仰付

人事消息

▲鶴飼醫氏(日赤醫學校講師) 廿四日朝入城
▲佐藤三郎氏(京管車輛長) 廿三日釜山へ出張廿六日歸任
▲川江秀雄氏(京管工務課長) 清會線視察中の處廿二日夜歸任
▲田代才八氏(京管庶務主任) 同上
▲團岐中佐(新任朝鮮軍副官) 廿三日夜著任
▲林獸醫部長(軍附) 西鮮地方視察の爲廿七日發七月八日歸任
▲長谷川忠福氏(第十九師團附主計正) 廿二日夜來城
▲金潤晶氏(京畿道參與官) は地方狀況視察の爲六月二十三日より四日間の豫定にて開城及水原郡へ出張せり
▲朝倉外茂鐵氏(辯護士) 廿二日所用にて大邱へ出張中の處廿三日夜歸城
▲村橋男氏 江原道高城憲兵分遣所長は京城憲兵隊勤務を命ぜらる
▲滿潟木光治氏(本社嘱託辯護士) 一身上の都合に以て一時內地に引揚ぐる事となりたる同氏は來る廿六日朝南大門發東上の筈
▲氏家翠顯氏(光州慈惠醫院長) 二十三日夜入城滿尾へ
▲桑秀作氏(慶北內務部長) 同上
▲中野太三郎氏(平南警務部長) 二十三日夜退城
▲牛島省三氏(大藏省書記官) 二十四日朝入城天眞樓へ
▲林一郎氏(三十九旅團長) 二十四日朝平壤へ
▲大塚海軍少將 二十四日鎭元由へ
▲賀田直治氏(滿鐵常務) 二十五日朝南大門發一週間の豫定にて黃海道兼二浦地視察すべし

松尾茂吉氏逝く



大陸通信社長松尾茂吉氏は既報の如く廿二日朝來危篤に瀕せしが其後小康狀態にあり家族及同人一同愁眉を開きしも束の間廿三日夕病勢一時に昂進し加療遂に効なく廿三日午後十二時永眠せり、葬儀は廿五日午後四時自宅出棺途中行列を廢し南山本願寺に於て執行すべし

松尾氏略歷

氏は長崎縣北高來郡古賀村二一に生れ本年四十四歲、明治三十一年より三十九年十月まで朝鮮及滿洲に於て各種商業に從事四十一年五月韓國法部裁判所飜譯官補、四十三年十月裁判所通譯生兼書記、大正二年十月退官京城日報社の聘に應して入社編輯事務に當り、五年一月編輯局長に進み能く局內を統一して社務の發展に盡瘁大正九年退社、姑らく閑地にありしが十二月京城日報社の經營に係る大陸通信を讓り受け社長として同社を經營し今日に至れり家庭には二男四女あり長男統一氏(十六歲)は龍山中學校三年生、長女美也子孃(十八歲)は今春京城高女を卒業せり尙ほ嚴父には老母及義弟あり

武田和尚追悼會

十餘年前一進會の黑幕となり併合の大業に參與した武田範之和尙十二年忌追悼會は廿三日午後四時より和尙の遺骸を祀る龍山瑞龍寺境內國士塔に於て開催和尙生前の知己たる宋秉畯其他愛顧を受けたる人々十數名參詣焚香默禱式を閉ぢ本堂の一部に食堂を開き和尙の逸話など語り合ひつゝ來年十三年忌には追悼會展覽會等を開き盛大に追悼會を催すことなど打合せ六時過ぎ散會した

○京局管回數券●●●● 京管局にては來る七月一日より湖南線裡里黃登間に三等回數乘車券を發賣する由なるが賃金二圓なりと

世界の旅
亞米利加にて 中村與資平

『ジャパニース・エキシビシヨン』とか書いてあるから見ると其所には貧弱な品、前や楠正成が着物の前をはだけて、あやしい手付で暗い中に淋しそうに埋れて居た、其所を出て昨日通つた海岸に沿ふて南に走り道に從つて左に折れ無暗に走つて見ると、だん〳〵道は上り遂には『ウインバーク』に來た、此所は實に良い景色で近くは桑港全市と指呼の間に見、遠く海を隔て、『オークランド』と暮靄漸々たる間に眺め、遙かに太平洋を望んだ景色は何とも云へぬ眺である此の山の中腹に海水を溜た池がある普通の用水とは別に之より鐵管で各戶に配水して火災の時の用に當てあるのださうだ山を一直線に宿に歸らんと急坂を無理に下つた、處が數日來の山道の旅行で疲れて居つた自動車の『フウートブレーキ』は遂に役にたゝなくなつた、斯うなると市中の賑やかな所を一寸乘り廻す事が出來ないから近所の『ギヤレーヂ』に持ち込み修繕を賴んで宿に歸つた。

寸壁

▲總督府の司計課長になつた林繁藏君は總督府少壯事務官中では最も將來を囑望されて居る一人で頭腦がクリヤーで然も人柄がデモクラチックな點は官吏中稀に見る人物である困難な朝鮮財政の切り盛に河內山氏を補佐して行く者には君を措いて他に無いとの評である▲又關稅課長の後を襲ふ井上主計君は林君よりも古く明治四十四年の帝大出であるが好個の紳士で先頃の財務部長會議に於ても人品態度に於て君の右に出づる者がないと關係者連大に敬服して居た大の研究者で其道に於ては蘊蓄を極めて居ると云ふ話▲井上君の後任たるべき穗積眞六郎君は法學博士穗積陳重男の第四男で度支部鐵道局、農商工部、京畿道と可なり動いた方であるが一度も京畿以外の地方へ出ないで京畿道の財務部長に出た事は久しく隱忍した御陰だと同僚は其の爲に羨んで居る

衛生宣傳と芝居

…豆七萬五千圓牛皮一萬五千圓日本木綿一千五百餘圓…一萬三千餘圓を減じ陶磁器三千圓木材八千餘圓雜品…計に於て右の增加と廿餘萬圓の大減少を見たれば合…

木浦縱論

全南支局　翠山生

木浦と群山（三）

余は左に統計的に大正四年より大正九年に至る兩港の輸移入出の數量を千分率に依りて對照し以て兩港貿易の趨勢を察はんとす

●輸移出對照●

年度	木浦	群山
大正四年	六〇	一四七
同五年	五四	九四
同六年	六六	八一
同七年	四六	八九
同八年	七五	一二一
同九年	六三	一〇三
合計	三六四	六三五

●輸移入對照●

年度	木浦	群山
大正四年	二六	三九
同五年	二四	三一
同六年	二二	二四
同七年	二〇	二五
同八年	一七	三一
同九年	一九	二二
合計	一二八	一七二

群山は輸移出に於ても全北の全部は固より忠南及び忠北の一部を占め輸移入も亦夫れに正比例して同地方に及び木浦は夫れと異りて輸移出入とも全南一圓すらも占有する能はず其の一部分は釜山に一部分は群山に蠶食されつゝ從つて斯の如き數字を示すに至れるならんも之が主因は群山は物資の集散地として地の利を占め木浦は地の利を有せざるに職由せずんば非ず固より兩港とも通過貿易港としての地位上單に貿易額の多寡のみを以て兩港の價値をトする能はずと雖も既に叙上の如く木浦が地の利に於て群山に一等を輸せる以上木浦が貿易港として群山の下位にある事は爭ふべからざる事實なり更に余は輸移出入貨物の消長を見るべく湖南線長城松汀里兩驛（此兩驛は當然木浦の商圈內に屬すべきもの）に於ける大正九年中の到着貨物の噸數を左に掲ぐべし

●長城驛●

品名	木浦	群山
麥粉	五	二一〇
鮮魚	一〇	
鹽干魚	六八	五
明太魚		
鹽	一二八	一、六六二
果物	五	一
綿糸布	一〇	三二
撚寸	一〇	二三
合計	二三六	一、七五三

●松汀里驛●

品名	木浦	群山
米	一	三七
麥粉	三	七七
鮮魚	九八	一一四
鹽干魚		
明太魚	二四四	三九
鹽	三六一	九四六
果物	一六	二三
綿糸布	一八	七〇
撚寸	一八	四九
合計	七五九	一、三五五

[illegible]ごも其他の部に於ては木浦群山を凌駕し居れるも大體に於ては遙かに群山に及ばず之に依りて見るも湖南線開通の結果木浦が如何に群山の爲に其の商圈を奪取蹂躙されしかを知るに足るべしされど兩港の商戰が結果に於て群山の勝利に歸したりと雖も群山の商人が果して世人の思惟するが如く活潑々地にして萬事積極的進取的猪突的に活動し又平素活動を繼續しつゝあるや否やに付いては大に疑問の餘地なき能はず唯木浦の商人が餘りに因循姑息にして平素消極的退嬰的女性的たるに依り比較對照上斯く世人の眼底に映ずる迄にして木浦商人にして今後猛省一番奮起せんが決して悲觀の要を見ざるべし

仁川商議選擧激甚

蓋開けは今日

候補の數二十二名　三名の落選は誰か

【仁川】愈本日となつた仁川商業會議所評議員選擧は各候補の運動振りも選に先せて愈よ眞劍味を發揮するだけ一層の緊張を見せて來た、二十二日の夜は

會議所樓上 に於ける立會演說と云ふ仕組に纏まつた掛値も持つたぬ乍らも演壇に立たねば男振りが下がると云ひだけに新候補が數十名五分間的の顏見せをやつた、古今未曾有の催しに奇を好む連中雨を冒して聽衆に押し寄せ階上爲に搖ぐの盛況、こうした意見發表の公演會でも行ふ程今次の選擧は

競爭は熾烈 であり白熱を加へて居る、當夜萩谷氏は公人としての資格と題し分り切つた事だと前提して個條的に其の資格條件を述べ續いて白神氏は更に其の說を演繹して痛く出缺の成績を指摘した正面には過去任期中二十二回に亘る議員の出席表が皮肉らしく掲げてある道に白神氏は皆勤の無缺とある事の頗る手痛かつたのは無理も無い、現在新候補として聲明せるものは緒方久、今井京太郎、辻川富重、堀浩、永見京造、渡邊剛の諸氏で新舊取交ぜて候補者二十二名に及ぶと傳へられて居る結局三名の落選の光榮を擔ふ者が出る譯である果して如何に展開するか、因に問題となつた前議員の

出席成績表 を拔萃して參考の爲に掲げて置く、第一精勤者の部には廿二回の會議中白神壽吉▲中條鉄一▲坂倉久一▲萩谷久一▲平山火一▲野口久二▲小原久二▲河野久三▲矢上久四▲北島欠四▲丁欠五▲大石欠七と云ふ精勤振りである反對に缺席議員の出席を示すと吉田出二▲力武出四▲服出六なさは甚だしい怠業の部である其他は先づ中庸であるが

會頭候補者 として取組んだ白神と田の兩氏が一つは精勤に於て一頭地を拔き一つは缺席怠業に於て一頭角を現じて居るなぞ面白い對照だと笑つて居る、愈今日と迫つた二十五日の正午後四時蓋開けの結果が不熱心なる

掛札議員を 痛罵するごんな戰果を見るか

府郡面事務督勵

平南にて率先實施

【平壤】兩三年思想界の變動やら或は財界の變動や騷擾事件やら引續いて起つた爲め官吏の心理に動搖しその結果執務振にも思はしい成績の擧らないのは各道を通じて一致してゐる

平安南道では 此際他道に率先して府郡面事務の指導監督に當り成績を擧ぐべく年度初めから計畫を立て一年內に府郡の事務を一巡して査閱する事となり既に鎭南浦の如きも平井內務部長其他職員數名出張事務を檢閱し根本的に改善の實を擧げつゝあるが此の指導監督に最も力を入れる點は第一官廳に於ける形式的事務の査閱を周到にするは素より一般民間の地方公共的精神の幼稚な地方に對しては更に民衆が自發的に自治精神を以て

地方改良の實 を擧げるやうに導くべく考慮を費したものである斯くして各郡を經て一層緊張した氣分を以て其管內の面其他の指導に力を入れしめる事となる場合に依つては道の方で其の方法を研究して徹底を期する意氣込であるそれが爲め道內を四分し第一區を大同中和龍岡江西の四郡第二區を平原安州价川順川の四郡第三區を江東成川陽德の三郡第四區を德川寧遠孟山の三郡とし地方課の職員を派し

一區域に對し 二十日前後府郡事務の全般に亘り道に於て定められた事務に關する要項により府郡廳は勿論面學校組合普通學校等一般的に指導監督する事となり現に第一區域內乃至第三區域は既にそれ〴〵著手し根本的に檢閱を了し第四區域は今秋頃より實施する筈である平壤府は接近の地であるから適當の時機に於て實施するさうだ

新旅團長着任

二十四日午後四時

【平壤】第十六師團參謀長より榮進と同時に步兵第卅九旅團長に補せられたる林田一郎少將は二十四日午後四時著列車にて來任せるが步兵第七十七聯隊は停車場前道路の兩側に堵列出迎へたり

全南普校認可

九月頃開校か

【木浦】大正十年度全羅南道に新設さるべき普通學校は全部十四校にて中一校は既に認可され十一校は二十日左記の通り認可濟みとなり殘るは二校なるが右は不日認可さるべく認可濟みのものは何れも新築に著手したるを以て遲くも八月中には落成すべく開校は九月頃となるべしと

▲光州郡瑞坊▲潭陽郡大峙▲光陽郡下面▲麗水郡召羅▲寶城郡鳥城▲長興郡古邑▲海南郡北平▲綾州道德▲咸平郡桂川▲靈光郡郡南▲濟州島朔天

巡回文庫設置

【平壤】平安南道では地方改良施設の一として巡回文庫を設置する事となつた由は既報の通りであるが今回愈具體的に左の通り決定した巡回文庫は道地方費を以て設置し道及所屬官公吏署職員の閱覽に供し圖書は適宜區分し各府郡に送付し送付を受けた圖書は府尹郡守が管理し閱覽期間は一府郡一月以內とし各郡を巡回する是に要する費用は本年度一千圓で出來るだけ有益な新刊書籍を購入し閱覽者の知識の開發、常識の修養を計る筈で愈九月一日から實施の運びとなつた

農作

大田郡挿秧狀況

【大田】大田郡下に於ける水稻挿秧の狀況は本年は例年に比し春來適當の降雨ありたる爲め稍良好に植付けは進行しつゝありたる折柄六月十八日八十八耗の降雨ありたるより目下六七割の植付を了したれば本年の植付は無事終了するならんと

春作銹病被害

【大田】大田郡を貫流する錦江の沿岸たる九則北面の大小麥に銹病發生したるが幸ひにして大なる被害なく全面積の約一割位ならんかと

棉花共同販賣撤廢と大會

【木浦】木浦の綿業者及び關係者は豫てより棉花共同販賣制度撤廢を主張し此程開催されたる木浦振興策講究委員會に於ても論議され結局全員一致撤廢に贊成したるが右は追々運動の歩を進むるもの、如く去る二十一日は同業者及關係者十數名穀物組合事務所に會合し種々協議する所ありしが其結果充分研究の上具體的案を作成し其の筋に…全南同業者の輿論を喚起し目的の貫徹に努むること、し多分近く道內同業者大會の開催を見るに至る可きかと

【京城】…井軍司令官、宮崎師團長…官を随へ廿一日午前十一時半鳥致院より道差向けの自動車に來…後道廳を訪問し二十二日は忠州に出發したり

燐寸軸木工場

…けるマッチ軸木工場新築落成したるを以て十二日當津鎭南官民有志數百名を招待して盛なる披…の細斷器械を運轉し一日の製產…百五十俵（一俵は五百把）である男女職工百六十名、原料は間…

大邱の蠅取デー

・成績極めて良好・

【大邱】大邱署に於ける第四回蠅取デーは廿一日施行したるが實施戶數八千八百廿一戶にして捕獲蠅數は百七十二萬七千七百四十二匹にして之を前回に比し戶數に於て廿八戶を增加せるも捕獲蠅數に於て百廿二萬九千九百八十八匹を減少せり這は第一回當時より殆ど蠅を取盡したる結果と數日來氣溫低下して蠅の發生少かりしに依るものなりと

苹果の初出廻

【大邱】慶北慶山廣瀨農場より廿一日苹果紅魁五箱（一箱百廿玉入）の出廻りあり同日京城に仕向られたるが品質頗る良好にして之を以て慶北道本年產の初出廻りとせられ昨年の初出廻りに比すれば二日早しと

仁川公會堂設計

打合の結果折衷案實行

【仁川】公會堂の設計は嚢に一萬八千圓を以て現俱樂部移轉の事に決し益之が實行に就て相澤工務所に調査設計を依賴した處最初の目論見たる現建物の移轉は絕對に用を爲さぬこの非に新に十三間半と六間の

大公會堂 の設計を建てるので五萬三千三百二十三圓を要する事となつたが仁川府現在では之が實行の不可能なるは云ふ迄もなく府當局も苦心の結果廿二日建築委員の會合で打合せしたが前設計を取消し現在建物は之を賣却して代るに適當の材料を使用して最初の計畫の下に實行する事に變更したのが經濟としては現在寄附金一萬八千圓の外會議所の支出する移轉費三千圓があり二千圓を府廳で捻出し極めて合計二萬三千圓となるが既に基礎の土工等に約四千圓を費したので

建築費は 二萬圓以內の豫算計畫する事となつた其の設計は相澤工務所に於て約一ヶ月の後には完成の筈であるから遲くとも來る八月からは着手の運びとなるだらうと

釜山 住宅難

緩和策進捗

【釜山】既報の如く釜山住宅難題の解決は愈實行すること、なりさうである差向き適當なる地所がないので此際先づ府營を起して南濱町の一部を埋立て是に住宅を建築すれば西町方面より實業家の邸宅を見るであらうさうなれば住宅難は何程か緩和される事になる斯う謂ふた處で實際は釜山の富豪連中が腰を上げねば問題は又々立消となり折角此處迄進讒した事が畫餅も同じ事で何等要を爲さない釜山在住民は其の職が官野に在るを問はず總てが大釜山を建設する義務があり又責任があるは謂ふまでもない事である依つて釜山の住宅問題も斯うした方策を案じ出した上は何處までも積極的に進捗させねば責任がすまぬ、富豪が相手にならない樣なれば府尹を更に鞭撻して實施すべきである

釜山鐵道ホテル

愈々改善さる

釜山鐵道ホテルの改善に付き井支配人は此度京城に於て開かれたホテル主任會議に臨み釜山ホテルの不體裁なるを力說し改善を提案したる結果京管局の方でも大に認め二萬圓の費用を以て設備の改良客室の改善を爲す事になりそれ〳〵準備中である又高級自動車を購入し市內遊覽者の妨害にならざる程度に一般客の注文に應ずる計畫であると

宣教師會議開催

【全州】全南北兩道に在住の宣教師約七十名は二十日より全州に開催の宣教師會議に列席の爲め來全したるが遠く神戶、京城よりも一二名出席せりと

慶北警察署長會議

【大邱】慶尙北道內警察署長會議は廿二日午前九時より道警察部會議室に於て開會したるが一同着席するや鶴川知事、桑內務部長下村理事官警察部各課長臨席し新庄警察部長は議長席に著き開會を宣し鶴川知事の訓示次に新庄部長の指示注意事項ありたり

婦人矯風會支部

釜山に設置する

【釜山】婦人矯風會々長矢島揖子女史來釜を機とし當釜山へ其支部を設くる事となり釜山實業キリスト教會にては先頃より會員募集に斡旋奔走中の處本町日本キリスト教會よりも百餘名の入會申込ありたるを以て愈二十三日商業會議所樓內商工俱樂部に於て支部開設の發會式を擧行する由

棉作技術講話會

【大田】忠淸南道にては七月四日より六日迄三日間大田郡廳に於て管內各郡の棉作技術員の講話會を開催す其の日割左の如し七月四日棉作講話五日同上六日實地見學講師は石塚本府技師吉永棉作場技手

全南教育研究會

【木浦】全羅南道教育研究會は…日四五日は光州二十七八日は木浦七月一二日は麗水にて開催と決定したるが其際左の諮問案に依り各教員の意見を徵すべしと

一、教授訓練上に於ける目下の缺陷救濟方法　二、普通學校に於ける不就學兒童救濟方法

小學教員夏季講習

【釜山】暑中休暇中釜山各學校教員の夏期學術講習會を開催す可く略內定せるが期日場所等は未定なるも八月上旬に四日間の豫定を以て講師として京都帝國大學教授文學博士藤井健次郎氏を聘する事に決定せり

地方集會

○仁川俱樂部例會　仁川俱樂部會は公會堂移轉の爲め一時例會中止の姿なりしも尙は移轉實行迄には余日あるを以て六月廿八日午後七時半六月例會を開き多田通運支店長の歡迎を兼ぬべしと（仁川）

○平南教育會總集會　平南教育會にては二十六日午後一時より南山町小學校に於て總集會を開催終つて步七七中島中尉を聘し飛行機に關する講話を聽くべしと（平壤）

銀行會社

○京城局電話帳調製　京城郵便局大正十年度新電話帳は不日印刷濟みとなるを以て多分本月中には配布せらるべしと

滿商總會　滿洲商業銀行の第二十一期定時株主總會は來る七月二十四日午後三時より公會堂に於て開會する事に決定せり（安東縣）

印刷總會　株式會社安東印刷所の第三回定時株主總會は來る三十日午後一時より公會堂に於て開會決算其他の件を附議すべし（安東縣）

旅銀支店　旅順銀行大連支店は開設以來業務漸々盛大に赴き現在三河町の營業所にては狹隘を感ずるに至りたるを以て今回磐城町に於て新築に着手したり本年末には竣工の豫定（大連）

月尾島公園計畫（四）

林學博士　田村剛一氏談

植栽

公園の工事は先づ植栽に始められねばならぬ蓋し現在の如く土砂流失崩壞して山腹赤裸々たる有樣では如何なる施設も之に公園的外觀を附與する事能はず且つ道路其他の建設物も先づ山腹地表を固定した上でなければ安全に着手する事が不可能であるからである從つて植栽よりも更に根本的には砂防工に類する工事より始めねばならぬ殊に本島南部及び西部にして風當り猛烈なる個所は砂防工の必要最も痛切であつて之が爲には相當の堰堤護岸編柵工張芝工等を施し然る後に地表を被覆し地味を改良せしむる爲に各種の雜草灌木類の種子を播くのである殊に將來の風致の爲には黑松、躑躅、連翹、柳、萩、桔梗等を選ぶが宜しい然るに現在既に相當の成林を見た個所もあり地表の固定した部分もあるから其に先せないであらう其の植栽個所並びに樹種は略圖上に示した通りである、

植栽に關する方針は四季不斷に色彩を施すを旨とし今日月尾島の花木を代表せる櫻に對して夏の深綠と秋の紅葉とを充分對立せしめる迄に努めなければならぬ今次に此の目的に依つて四季に依る樹種を分類して下に掲げやう

春　櫻、躑躅、山吹、連翹、柳、木蓮、ハシドヒ、ボケ

夏　ニセアカシヤ、クヌギ、ハリギリ、アヲギリ、トチ、ケヤキ、ニレ、ホホ、ジンジユ、ナツメ、サルスベリ、カラマツ、チム、フア、ツツギ、

秋　ボタン、クチナシ、アヤメ、ハゼ、カヘデ、ハギ、ヌルデ、マユミ、キヂヨカ

冬　クロマツ

而してクロマツは四季を通じて本公園風致の基調を爲すべきであつて其他の樹種はクロマツを背景として色彩を施す手段となすのであるから多くは同じ樹種を群團的に植栽し一本宛を混交するのを避けるのである又カヘデ、ケヤキ等特に肥沃なる土地を要求するものは畑地の跡等特殊な位置に限りて採用し將來林相改まつて土地も改良せられたならば初めて大規模に更新することも出來るのである。

尙海岸道遊覽路其他大花壇等の建築物の附近等には並木ようの樹種としてはサクラ、ニセアカシヤ、イチヨウ、ポプラ、ヤナギ、アヲギリ、ドロアブラタナス、エノキ、カラマツ等を並木に用ひ、ギヨリウ、アヲギリ、ヒヤクシン、ムクゲ、コノテガハ、マサキ、ヒバ、グミ、ツゲ、カラマツ、タダ類等を生籬に用ゆる、

公園植栽は必ずしも一面を森林にしやうと云ふのでは無い特に森林に適する位置、溪流附近等に幽邃なる植栽を爲すこども建物の附近殊に多人數の休息遊戲する爲の芝生も廣場は外觀上からも又實用上からも無立木の狀態に殘存せらるべきである、又風致林植栽は可成は公園道路兩側に密に且つ變化多くし又醜惡なる箇所の隱蔽用としても適當なる植込を要する事もあらう以上植栽用樹種は可成苗圃を設けて養成し置き、根の良好なる發育を爲さしめ相當の大きさに達して初めて植出すべきである殊に並木用としては下枝一間以上に達してから植出す樣にしなければならぬ、又山地に植栽してからも常に病蟲害の豫防驅除並に施肥を怠つてはならない特に注意すべきは一切の雜草灌木等を採集せしめない事である。

第二回 仁川婦人見學團

期日　七月上旬『詳細追て發表』

場所　郵便局、觀測所、水道貯水池

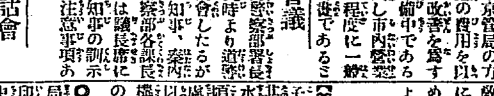
主催　京城日報仁川支局

後援　仁川愛婦篤志兩婦人會　仁川各宗聯合婦人會

▲松井…南軍事…官…二十四日より…平原地方に出張（平壤）
▲芝山忠五郎氏（第廿師團經理部長）來壤中の處廿三日夜發歸任（平壤）
▲山本定房氏（龍山兵器支廠附砲兵中佐）閱兵觀察の爲め廿二日午後…
▲郭學綸氏（大連公議會長）…日發…陽社（大連）
▲本田大佐（派奉天督軍顧問）廿日大連經由著任し新市街の寓居に落…
▲…氏…復活委員として東上中の處廿二日歸連（大連）
▲北條時敬氏（…議員）…地視察中なりし北條時敬氏は…夕安奉線列車で來奉（奉天）

連絡船乘客

○二十三日夜入港…丸上陸客一等（十一名）佐藤喜介、大橋金太郎、屯田信二郎、吉羽郁雄、岡初子、佐々木政巳、以下外人二等二十九名三等九十五名外人五名合計百三十五名

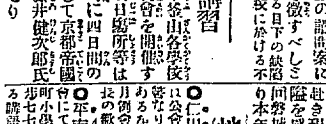


世界の珍品　新案時計指輪　空前の特賣

萬年筆　NNN實用

一圓廿錢

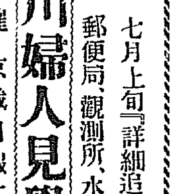
東京市牛込區市ヶ谷薬王寺町九三　振替東京三三九五番　NNN堂



捨置けば人から笑はれる不思議に早く治る秘藥　療法有ハガキに病名及び新聞名記入
東京府下淀橋町角筈第三小學校正門前通　東京皮膚病院

虎疫豫防の第一

總督府並に警察衛生課御用品

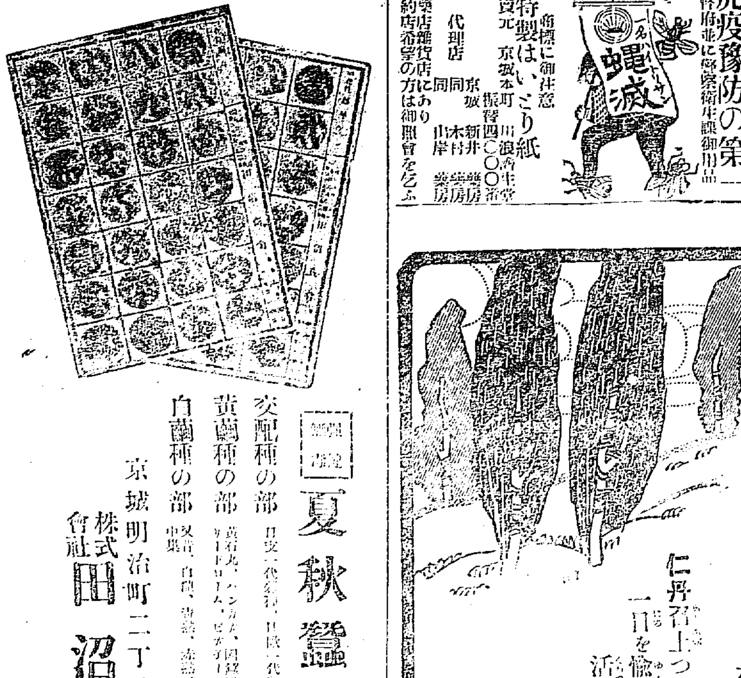


特製はいとり紙　商標に御注意

賣元　京城本町　川浪商店　振替四〇〇〇番

代理店　京城 新井藥房　同 木村藥房　同 山岸藥房

各藥店雜貨店にあり　特約店希望の方は御照會を乞ふ



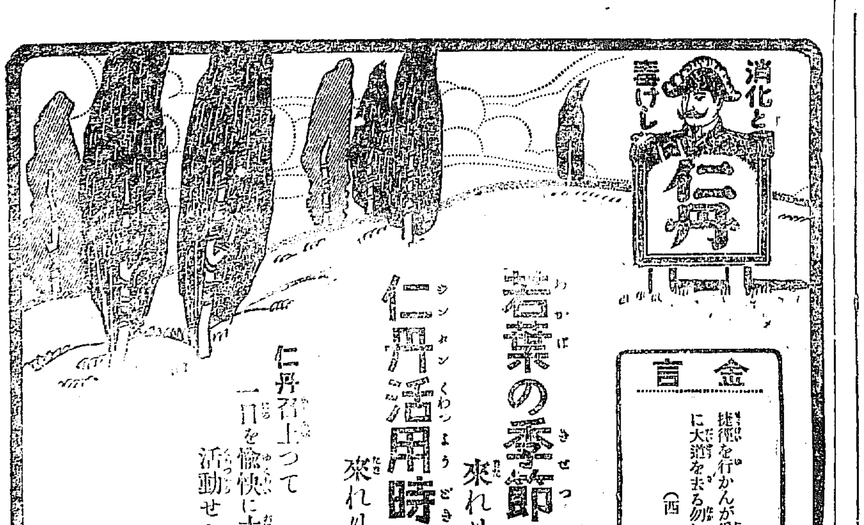
夏秋蠶種

交配種の部　日支一代雜種・日欧一代雜種・支欧一代雜種

黃繭種の部　黃石丸・ハンガリー・國蠶改良四號・ヲリエンタル

白繭種の部　又昔・白龍・青熟・赤熟・三眠又・新昆・小石丸・中東

京城明治町二丁目　株式會社田沼商會　電話一九〇四番　振替京城一九一六番　電信略號【タヌマ】



若葉の季節は來れり!!

仁丹活用時は來れり!!

仁丹召上つて一日を愉快に大いに活動せられよ

金言　捷徑を行かんが爲めに大道を去る勿れ（西諺）

代理店　大阪市東區安土町四丁目　祭原商店

トリスウヰスキー

あまり多くの時と量とを要せず　下物として　しかも　よく快味を得らる・点　及び　頭痛誘引のフーゼルを絕對に含まざる点　そこに生活改造の使命あるトリズ

139

こども新聞

復讐奇談　敵の寫眞（下）

原田紫山

「誰の寫眞だね。」

僕は友人の手から寫眞を受取つた。年頃四十歲ぐらゐの外國人の寫眞であつたが、驚いたのはその寫眞の男の背から胸にかけて、何かでゑぐり拔くか打ち拔くかした跡の穴があるのだつた。

「これはごうしたのだらう？」

穴を指して友人に僕は尋ねた。

「その穴が問題なんだよ。ピストルで射貫いた穴だよ。」

「ナニピストルで。」

「さうだ、ピストルでだ、ジョンソン氏が打つたピストルで。」

「ハテ、一體この寫眞は誰のだね。」

「ジョンソン氏の敵の寫眞なんだよ。」

「うん、これが。」

僕は寫眞の顏を暫く見つめてゐた。如何にも惡相な、親でも殺しかねまじき、見るから憎々しい顏の男であつた。

「ジョンソン氏はその男を探し出すことが出來ないうちに近頃になつて病氣にかゝつた。重い心臟病にかゝつた。いくらか前から心臟が弱かつたんださうだがね。敵に出逢ひたい一念で、病氣の苦痛も忘れ勝であつたらしい。ところが六七年間探しても探し出すことが出來ないので、張りつめた氣がだん〳〵ゆるむにつけて、病苦が頭をもたげ出して、近頃めつきり弱りこんでゐたんださうだ。」

「それはさうだらう、氣の毒だ。」

僕はその寫眞を卓の上に置いて、友人の話に耳を傾けた。

「ところが一昨夜の九時過ぎに、ジョンソン氏は進を呼んで、誰が來たかと出拔けに尋ねたさうだ。進は、何方もいらつしやいませんと答へた。誰も來ないんだから有りやうに答へたんだ。するとジョンソン氏は目をいからして、いや來ない筈はない。きつと來たものがある。彼奴かも知れない。さうだ彼奴に違ひない。私が此處へゐることを知つて、私を殺しに來たんだらう。それ、扉が開いたぢやないか。來たな、私を殺しに來たな。よく來た。十年近くも私はお前を探して歩いてゐるんだぞ。ジョンソン氏はテーブルの抽斗からピストルを取つて立ち上つたさうだ。進は本當に誰か來たのかと思つて扉の方を振返つて見た。併し扉は締たまゝで、もとより誰も入つて來たものはなかつたんだ。」

「幻覺だね。」

僕は一口言つて沈默つた。

「幻覺作用だ。ジョンソン氏の目にははつきりと敵の姿が扉を開けて入つて來たやうに見えたんだ。そしてジョンソン氏はピストルの狙ひを定めて引金を引いた。うむ、よし、態見ろ！とう〳〵やつつけた。あ、愉快だ。とジョンソン氏はピストルを投げ出して扉の方へ驅け出さうとして、パタリと倒れた。そしてジョンソン氏はもう死んでゐた。心臟痲痺を起して……。」

「うむ、さうか。」

と僕は可なり興奮した聲で言つた。

「後で氣がつくとこの寫眞が入口の壁から下へ落ちてゐたんださうだ。ジョンソン氏はこの寫眞を自分の座席から正面に見える壁にかけてゐたんださうだ。」

「これですつかり分つたらう。」

「分つた。全く珍しい復讐だ。」

「さうだ。ジョンソン氏は見事に敵を射殺したものと信じて死んだのだからね。」

と友人はかう言つて卷煙草に火をつけた。そして間もなく歸つて行つた（完）

航海に從事せる事を發見され押へられたり（馬尼剌發電）

龍山元町局の不正局員　發覺檢擧す

龍山元町二丁目郵便局事務員李相元（二〇）は昨年七月一日より同局に勤務中去る六月十五日に至る間に於て官金橫領、切手竊取等數回に亘り不正行爲ありたることを發覺し龍山署に引致取調べ中の處二十四日檢事局に送致された罪狀の顚末を聞くに去る五月二十四日元町一丁目淺野政直が關稅金十七圓十七錢を納付金の內七圓を橫領費消し又同月二十八日小包郵便發送の際切手六圓を竊取罪跡を滅せんが爲め使用濟の切手を二つに破り之を繼ぎ合せて使用し其他四月上旬より五月中旬に至る間に於て數回に亘り公金百八十圓を竊取費消したる者なりと

滿呂木七段送別將棋會

永く本社囑託棋士として滿鮮棋界振興に努力しつゝありし七段滿呂木光治氏は此度一身上の都合に依り一時內地へ歸還することゝなりたるを以て當地同好者有志は、本廿五日午後六時より旭町白水に於て送別將棋を催すべしと因に同送別棋界に加入希望の方は任意白水へ申込まれたしと

◎西大門署落成式　豫て新築中であつた西大門署は此の程愈竣工したので二十五日午後一時から落成式を擧行する由

お寺と教會

▲曹洞宗別院（若草町）　日曜講演午前九時中村老師碧巖提唱、午後一時日鮮兒童教會

▲日本基督教會（黄金町）　六月二十六日午前十時イエスの□非口牧師午後八時聖書講義同師

▲メソヂスト教會（旭町）　二十六日午後八時宗教講演會神戶ハミル館長三戶吉太郞氏

關釜連絡船

釜山發　朝　六、五〇　夕　八、三〇

廿六日	朝、對馬丸	夕、高麗丸
廿七日	朝、博愛丸	夕、新羅丸

蘋園詞宗を迎へた以文會の雅宴

大和町の總監邸の聞香閣に催された內鮮雅客の淸筵

薫風そゞろに雨氣を催ふす黄梅季の六月廿三日午後六時より今次支那觀光の歸途京城に立ち寄られし貴族院議員日本赤十字社副社長阪本芳郎氏歡迎の雅集、以文會の主催で南山の樹蔭涼しき聞香閣即ち政務總監官邸に開かれた阪本氏は蘋園と號し漢詩人として日本屈指の大家である正賓は阪本蘋園詞宗を中心として主人側よりは香堂水野博士を首めとし一堂李侯爵、春皐朴侯爵、詩南閔子爵、碧梧尹子爵、石雲朴男爵、韻泉韓男爵、惠石趙男爵、其外呂荷亭、鄭茂亭、徐初園、尹東庵、趙見山、鄭葵園、李皖南、金香漁、鄭松巢、李梧石、魚川雲、崔梅下、魚惠齋、宋悔堂、李關陀、洪象山、金海岡、李貫齋、國分梧庭、和田天民、伊藤三江、松田學鷗、成田魯石、古城梅溪、大垣金陵、小永井槐陰、江原如水、安東翠雲、權藤九洲、久保田天南、細川詭陵、等の詩人墨伯にして席上先づ香堂公の

相遇故人共雅遊。官情亦自有風流。喜君來結同文誼。桑槿和平鞏五洲。

の唱に對し蘋園詞宗は

淡陽今夜伴淸遊。喜見風騷亦一流。綠酒盈樽鐙照座。此身疑是入瀛洲

墨痕淋漓『洗水相逢』の四字を揮毫せられたので之を中心に列各賓の和韵あり又香堂公が『こ醉ぎ氣で一堂以文會員並に參賓主繪畫書詞の合作を試み數葉の大雅莊は忽ち塡充され期せずして騷壇の副產物を得此の間詩伯畫匠各其の意の向ふ所に從ひ絨本に筆箋に詩畫帖に揮毫に双の盛事を呈し最終に奏園閣內朝氏探風直に之が記を草す韓盟風流賓主倶に盡きぬ交驩に名殘りを惜みつゝ散會したのは十一時半であつた

◆……西氷庫の學童水泳場……◆

楊柳濃きところ　賑かな水泳場

喜々こ夕を知らず戯むる　六百の學童こ等級試驗

京城公立小學校聯合水練會は二十一日より七月三日迄西氷庫水泳場にて催される總出場人員は市內九校尋常六年以上の六百四十九名にて

午前授業後直に受持訓導に引率せられ滿鐵特別列車に搭乘西氷庫に赴き一時二十分より十五分宛三回入水練習して三時十分の列車にて引揚歸城するのである廿三日は三日目の練習日にて日照りの鬱陶しい空に冠岳の秀峰は煙へ沿岸の楊柳は眞青に微風を孕む

白帆は上流に點々として居る、水溫は七十八度より八十九度を上下して六百餘の兒童は砂上に戯れ淸流に水沫を揚げて歡聲は波紋と共に水の上を擴がつて居る甲乙の二組は更に三十二班十六名宛に區分され甲乙交互に簡易な

準備體操を行ひ班長の訓導の監督の下に練習に移るのである兒童の水練會は毎年暑中休暇に入りて行はれるのであるが兎角洪水疫病に遮られて思ふまゝにならず遂に今年は早期に繰上げられたのである出場人員は休暇の其に比して

好成績を示して居る日を逐ひ技の熟練に伴ひ等級の色別を行ふ筈であるが未だ紅色初心者、白色經驗者の二大別にて嚴重なる警戒の下に觀流を習練せしめて居る各校長赤裸の巨軀を兒童に群れて溫味の溢れた有樣で山の出校長大山校長は老年にも屈せずと言へば

『否此れからが働き盛りで未だ老年は無情です』と破顏一笑し欣然と水沫を浴つて居た。特に今回の擧に就て松田自動車部にては救護自動車として期間中一時より三時迄自動車一臺を專用として寄贈されて居る

大同江上の捕物

活動寫眞宛らの大活劇　不逞團員五名を逮捕し

大同江警察にては豫て大同江下流岸巖窟下に船中生活を爲し水路を利用し巧に隠見出沒不逞の徒と機脈を通じ大事を決行せむと企圖せる有力なる不逞團ある事を探知し二十二日未明署長以下現場を襲ひ水深約一丈の江中に於て大格鬪を演出し元兇金鳳源以下五名を逮捕したる上ピストル四挺實包數百發其他有力なる證據書類多數を押收引揚げたるが宛ら活動寫眞其儘の大活劇にて逮捕されたる不逞の徒も今猶當時を思ひ戰慄しつゝありと是が動機となり多數連累者の捕縛を見るべし（平壤特電）

傷を負せて徵役五ケ月

新義州法院

新義州衛生人夫支那人殷玉年諸海玉兆從田照等四名は本月六日府外麻田洞に於て老松町居住鮮人朴昌貸（二〇）と喧嘩し朴の頭部其他數ケ所の傷を負はしめたる爲め被害者より告訴されたが新義州法院支廳に於て取調べの結果四名とも懲役五ケ月宛に處せられたり（新義州）

大成丸押收

日本石油發動機船

日本石油發動機船大成丸は沿岸

鮮洋服職工盟休

鐵道局の方は一圓の工賃を支給すべく要求したが店の方では巡查服の方を承諾したのみで鐵

四十圓を給與してゐたが本年度には三十二圓のみ支給

モルヒネ密賣檢擧

商業銀行の預金も證據品と見る眼も忍びずして引き上げられ猶數千圓の現金も押收し二十四日午前八時

一方長岡司法主任は裁判所、及一種の悲劇を現出せり、

因に非宮は鍾路警察內長沙洞に某著貸師の溫突一間を出際の活氣に破きばかりなり

逃走行方を晦ましたるが十五日以前非宮は風を喰つて遊蕩の極みを盡せるものなりと

宗匠を訪ねて（十二）

十年涙の哀史を　四絃の音色に慰めて

＝旭町一丁目の箏曲　生田流師匠村瀨こし子さん＝

昔から琴三味線の宗匠といへば多くは眼のあつてない樣な人の職とされてゐた關係から、其のお稽古もたゞに師匠さんの手つきと口傳へだけによつて

毎日怠まず倦まずの練習で隨分氣永に習得されたものであるが漸次世の推移につれ、人の生活狀態が複雜になつてくると、それではもう間に合はなくなり、だん〳〵新しい味が加へられるものであるが昨今箏曲の教授の上にも

時代の推移と言ふことを何うすることも出來ない頭の經濟といふ見地からして、旭町一丁目に箏曲は生田流の宗匠として身を立つる村瀨こし子さんは其教授の上に譜を以てされてゐる、一日此の宗匠を訪ふに其の教授主體の譜といふは、つまり拍子を

基礎として作られたもので、四つの拍子の中に樣々な手と音譜とをとりこんである一寸門外漢には其の內容を知ることは出來ないが察する處此の譜の應用は習得の上に非常に頭の補ひをなす事だけは充分にうかゞはれる、宗匠のこし子さんといふは漸く去年か今年位

不惑の年の瀨を越したかと思はれる程の人で、此の人も又痛はしい事には一人暮しの淋しい女主人、相當な家の一人娘として生れた人には之によつて身をたつる積りでもなかつたがやがて來た結婚生活は轉じてあたら世の女人のすべてを淚させる樣な痛々しい

複雜化した家庭を產んだ傷に其の愛から少しなりと遁さうと幼少の折、生れ故鄕の小松檢校の門風の會によつて究め名古屋で當時の箏曲の宗匠、られた道を賴りに、愛人をよそに一人淋しく遙々朝鮮に移り住み、現在の地に

師匠をする事になつてから既に今日まで十年に近く其の間淚にぬれし日も幾日かあつたこと、今ではすべての苦痛も此の譜の教授の上にうつし商其の研究に餘念がない、そうして此處へは女學生の門下生が最も多い

京城學士會下仁

學士會は廿六日仁川運征山根町グラウンドに於て實業並に米信の二チーム迎戰の筈なり

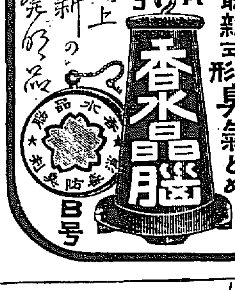
會を組織して選手を鼓舞し近く應援優勝旗を作つて球界に更らに精神の氣を興へべしと仁川の野球界一機運を出だすの機運に會せり

衛生の普及と思想の向上には香水晶腦に限る

室內に備へ傳染病の媒介たる蠅蚊を驅除す

便所に置けば惡臭をとめ。よき香を發散す

倉庫に置けば昆蟲を驅除し。蟲害を防ぎます



新案特許　五二〇七五

香水晶腦は本品の構成及び附屬に至るまで實用新案特殊の要點を具備せる理想的發明品にして。空氣中に於て自然に揮散し能く消毒。防臭。殺菌の効を奏し且つ體裁優美高尙にして絕へず佳快の芳香を放つ衛生上一般の必需品なり

（定價）A號附屬共大形金一圓五十錢小形金一圓　B號金五十錢

◎全國送料一個十二錢◎市內は御注文次第無料配達いたします

見本御入用の方は金一圓爲替にて御送りあれA號小形御送申候

恩賜財團濟生會病院　內務省東京衛生試驗所　御用達

製造發賣元　東京市下谷區長者町一丁目角　竹島製劑所　電話下谷一三八八番　振替東京一三九五七番

全鮮一手特約店　朝鮮忠淸北道淸州　齋藤金藏

へ各地……特約店……　御希望の方は御便利に相談仕候

船來人形印ミルク

英國皇室御用品

到る處食料品店にあり

二千足限無代進呈

はき心地よく、體裁よく、丈夫で而の安い最新ゴム底靴宣傳の爲、算盤外の大奮出し二千足限り放近く御申込を願ひます

最新ゴム底靴

特價

ボックス編上靴　▼一號金七圓五十錢　▼二號金八圓五十錢

ボックス短靴　▼一號金四圓八十錢　▼二號金六圓五十錢　▼三號金八圓五十錢

右五種の內何號の靴でも一足御買上の方には、宣傳記念として無代で市價一圓五十錢以上の上等總ゴム靴を一足宛進呈致します、但し二千足限で斷然止めます

東京市本鄕區弓町　三倉商會　振替東京二〇五三九番　電話小石川四五二九番

自働車定期運轉

○平壤、江東、成川間、平壤、破邑陽德間　○平壤、順川、新倉間、平壤、北倉孟山間　○市內送迎、停車場送迎

名勝古蹟案內隨時運轉

▲販賣部

米國フォード自働車會社自働車及附屬部分品一切セールフレザー株式會社西鮮特約販賣

ダンロップ、アジヤックス、タイヤー、グードリッチ、チューブ、モービル油グリース其他販賣

▲朝鮮平壤府大和町七番地　株式會社　平南自働車商會　電話長五五番六〇六番　振替口座京城八九九三番

常備藥　整腸

ラクトスターゼ

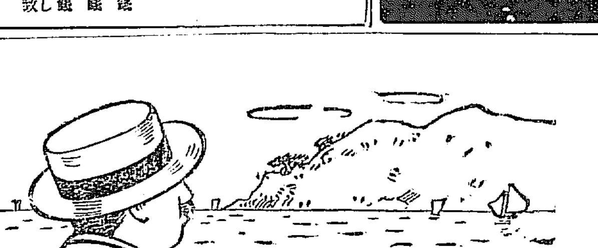
ラクトスターゼはメチニコッフ博士の長壽說に基きたる乳酸菌製劑にして、現今腸疾患豫防、治療劑として盛に其應用を見る、之れ蓋し本劑は腸內腐敗を防止し、之に原因する諸症に有效なる事實明確となれるによる。

ラクトスターゼ適應症　腸の疾患、腎及肝の諸症、腸內生產毒素の吸收等に因する皮膚病、神經衰弱、貧血早老、動脈硬化、蛋白質含有食品多食の要ある諸症等。

種類　粉末、錠劑の二種あり、各地有名藥舖にあり、說明書あり進呈す。

本社　東京日本橋區室町三丁目　出張所　大阪淡路町・臺北府後街

三共株式會社



數多の麥帽中……群を拔く

日ノ出向鳥印麥稈帽子は

流行に、品質に、冠り心地に卓越せる優品なり

登錄商標

商標御注意　御愛客の帽子洋品店にて御要求を……

東京　吉安商店

サッポロビール

東京大相撲

本日初日

何人も必要なる常備救急藥

安川コロダイン

効能　いつう・ふくつう・はき下し・暑けし・きつけ・食あたり・消化不良・惡心

定價　二十錢　三十錢　五十錢　一圓　二圓

◎本品は全國各地の藥店にあり升

本舖　東京日本橋上槇町　安川晃榮堂

値げられ百餘名結束す

[illegible]人洋服職工百餘名の罷業の内、洋服職工は夏服（巡査服、鐵道服等）で一着に付き八十[illegible]は大分[illegible]を要するので慰勞とし[illegible]職工等は遂に罷業す[illegible]名の罷業となり廿四日も引續き休業してゐる

死刑執行宣告文を 印刷郵送して富豪を脅迫す
京畿道楊平郡内に於ける大韓獨立支團長 韓憲履以下一味徒黨檢事局に送らる

客年七月以來京畿道楊平郡に於て或は獨立新聞を配布し或は郡内の富豪十數名に對し『大韓獨立團』の名義を以て軍資金要求脅迫文又は不穩文書を送り或は楊平郡守楊平警察署刑事巡査に對し死刑執行宣告文を郵送せるものあり警察は捜査中の處五月二十五日楊平警察署に於て本件の首謀者以下連累者を逮捕し同時に多數の不穩文書及獨立團印章等を押收し取調の上制令違反として六月七日所轄檢事局に送致した

犯罪事實の内容
不逞思想を鼓吹し不穩文書及死刑執行宣告を郵送

被告人は楊平郡古邑面玉泉里八〇六番地兩班耶蘇教長老（逮捕）京畿道獨立支團長韓憲履（五十一年）鄭慶時（六十七年）金光同（二十四年）韓泰喆（二十四年）金鍾厚（四十九年）柳來璣（三十三年）李戴圭（四十三年）朴永植（二十六年）

被告韓憲履は耶蘇教長老として教徒間に相當信望を有し夙に併合を不平とし排日思想を抱懷せるものなるが偶大正八年三月京城に於て獨立運動勃發するや同教助手楊平郡楊西面居住申裕均及信徒李容俊と謀り教徒を煽動して楊平邑其他に於て騷擾を起し

後 申裕均は京城に奔り李容俊は慶尚北道大邱に於て捕へられたるも本人は僥倖にして檢擧を免れ騷擾終熄後は傳道の傍密かに信徒間に獨立思想を鼓吹し形勢を觀望し居る内大正九年五月初め頃申裕均密かに京城より來り上海假政府の

現 狀及京城に於ける獨立運動の熾烈にして運動の將來は頗る有望なることを語り且つ自己は呂運亨の麾下たる假政府の財務官呂仲鉉及朴聖明等の帷幄に參じ奔走中なるが京畿道の東部は未だ指を染むるに至らざるを以て貴下を

獨 立支團長に任命し此の方面の運動を煩はすことに内定せりと告げたるより本人は之を快諾し同月二十六日京城に赴き呂仲鉉を訪ひ運動方法に付協議し同人より不穩文書印刷用として謄寫版一組を受取り

翌 日歸郷自宅裏軒下地中に石油箱を以て隱匿所を作り爾來不穩文書と共に之を隱匿せり其の後同年六月十六日申裕均は京城より獨立團の印章一個獨立新聞其他不穩文書多數を携行し韓憲履に對する支團長任命狀と共に之を交附せしが

韓 は大に此任命を喜び將來の奮鬪を誓ひ同月二十五日被告韓泰喆及金鍾厚を説き獨立新聞三十部を楊平邑内の重立つ者に配布せしめしが翌日其の大部は警察署に於て發見押收せしより殘餘の二十部を燒棄し同二十六日既て準備せる

楊 平邑内富豪金聖寛外二十四名に發送すべき脅迫狀を携へ京城に赴き翌二十七日市内各所の郵便函に投入し其の後傳道の傍ら脅迫文受信者が出金の意嚮の有無及之に對する警察官憲の活動の情況を探りたるに警察に於ては早くも之を發見し

嚴 に捜査しつゝある事を確かめ大に驚き同年八月四日同志と自宅に會合し警察の活動を牽制し併せて富豪及楊平郡廳に宛て『死刑執行宣告文』を郵送せしが申裕均は同年九月死亡し

運 動意の如くならざる爲金光同を説きて同志に加へ同年十月二日兩名は『諭告』と題する脅迫文を謄寫版にて印刷し同四日韓は之を携へて京城に赴き同郡古邑面李善鎬外五名に郵送し此間韓は布教に籍口し各地を徘徊し脅迫文を郵送し居たるものなり

富 豪に對し資產を有するものは其の分に應じ速かに假政府に軍資金を獻納すべし若し之を肯せざれば殺害せらるべしと諭り暗に之を脅迫して出金の意嚮を探りしに何等の反響なきより大に焦慮し本年一月十日金先同と鬪り同郡葛山面李恒善外一名の富豪に『死刑執行宣告文』及不穩文書を郵送し三月二十九日に至り韓は自ら李恒善方に至り之を脅迫して出金を迫りしも目的達せず又九之大正九年七月中韓は被告李戴圭を説き地方獨立團設立を慫慂せし處戴圭は直に

之 を應諾し柳來璣及朴永植を説き獨立團を組織することなり戴圭以下三名は同月中旬廣州郡南終面事務所に赴き面吏員退廳後密かに事務所に會合し被て朴永植が草案せる『廣州地方獨立團規約』を審議修正し事務所備へ付の謄寫紙を使用して

規 約を作成し各一部を所持し各自同志を募り更に進んで軍資金の募集に着手することに決し韓憲履と連絡を取り機を窺ひつゝある内逮捕せられたるものなり

◇入城した大相撲一行（右より常の花、千葉ケ崎、雷取締）

百廿名に對し 遂に停學を命ず
學校では盡すべきを盡し遂に涙と共に此の處置に出でた

既報の通り善隣商業學校當局に於ては二十二日午後二時第二部鮮人學生の

休 學中の百三十四名を講堂に召集し當日無召出校したる百十二名に對し燕父兄が愛兒に啣むで含める樣に懇々說諭せるも反省せざる爲め同校卒業生等は誠意の籠られた學校當局の意見に感激し學生等の不心得に對し

今 日午後三時より九時半まで極力說破した結果學生等は自覺せるものか將又一時の反感を抱きたるものか面目なしとて各自退學願書を認め引責すべしと言明し退學願書を提出して學校當局及び卒業生等の制止をも肯ぜず解散し

翌 二十三日には更に卒業生の善後策があり圓滿解決が着くかと思はれたが頑迷なる二部生は遂に一名の登校者なきを以て學校側にては職員協議の上午後三時涙を揮って前記百十二名の學生に對し無期停學を命じ其旨それぞれ父兄に通知した。

毫も反省の誠意なし
田代善隣商業校長談

善隣商業學校長田代仲次郎氏は語る『二部生徒は毫も反省の模樣が無く卒業生の厚意を裏切ても恐擧を中止しないと云ふ

結 果に陷つたのは異々もした遺憾ですが最う學校としての執るべき策は決定してゐますので廿三日午後三時に百二十餘の生徒には全部停學を命じ更に生徒や其父兄達の反省を促す決心です今後如何するかって問題は只今申上げられませんが學生の本分を忘れて

徒 らに盟擧や暴擧を敢てして續けてゐるものに對しては徹底的の處分をするに躊躇しませんが然し單に附和雷同したと云ふ生徒が反省して復校する分は將來復校を許すのも勿論です』

學校騷動の背面の人物
某警務局當事者談

流行もの、學校騷動は堅事に火の手を擧げてから善隣其他に傳染病の如く蔓延し地方にもボツボツ發生してゐるらしいが

其 運動は殆ど煽動使嗾に依つて惹起したものが多く東京留學中の不良分子より電報書信等を以て煽動してゐる向もあるらしく其方法か漸次巧妙になり首謀者の陰蔽に努め藏奮を防ぐと云ふ狀況である右に關し某警務當局は語る『どうも學校騷動の頻出には困る

確 かに煽動者のある事も認められるし東京や地方との連絡も察せらるゝので警視廳其他とも充分協力し此方面に注意すると共に煽動使嗾の徒輩は遠慮なく檢索處斷する筈である』

爆彈投下演習中 飛行機空中衝突
米國陸海軍大演習二日目に操縱者は二名共溺死す

米國陸海軍大演習二日目に爆彈投下演習中二機の陸軍飛行機空中にて衝突し海中に墜落操縱者二名溺死せり（華盛頓廿二日發電）

山階宮殿下 見事に飛び給ふ
高貴の御身を以て親しく航空術を御研究發達あり

海軍航空隊第六期生として御入隊中の山階宮武彦王殿下には飛行機操縱術非常に御熟達あらせられ二十三日も午前京より七號七十八機を御操縱高等飛行を練習あらせられ同日午前八時二十分同隊教官奈良大尉を同乘あらせられ二千メートルの高空に御飛行を爲し無事着陸あらせられ居り右に就き有川御附武官は語りて曰く近來飛行機は危險視せられ居るが殿下には高貴の御身を以て親しく航空術を御研究遊ばされたり最近益御發達あらせられ飛行機に對し少しも危險なき事を一般に周知せしめんとの御心は有難く泪に感激に堪わざる次第であるとは國民一般に好印象を與ふることであらう殿下には殊に發動機學に御造詣深く飛行機御操縱なども驚くばかりに御熟達あらせられた（横須賀電報）

◆入城せる林田旅團長◆

婦人見學團は明日（午前九時往十里電車終點）に集合

罪の子に絡る 二人の若き女性
巡る因果の身を嘆く令孃と三月の腹を抱ねて泣く藝妓

南大門京城稅關出張所不正事件の巨魁稅田久太郎の犯罪の裏には痛ましきまで涙に包まれた美しい少女のエピソートがある、

稅 田には旭町某家令孃山川龍子といふ許嫁があつた二人は近き將來に暖かき家庭を結ばんとして一切の幸福は花束の如く授けられつゝあつた然し稅田は恐ろしき罪兒であつた純な少女の熱愛の前には彼はあまりに混濁した生活を持つてゐる、惡心の强き彼の心情は腐草の如く腐爛して居た、稅田はしばく

少 女の注視を避けては紅燈に夜咲く花を慕つた、或日龍子は稅田の前に身を打ち伏せた、南山の松籟は戀に惱む戀しい小夜曲を奏ずる稅田は少女の縷々として愁に充ちた諫めの言葉に耳を傾けて居たけれど、甘き線調を以て朦朧とした彼の心は岩石の如くして少女の至情は滲む事は無かつた、稅田は身を起した、

嘲 罵は彼の口に迸つた、龍子は山腹の險斜面に僵れんとする身を支へて駈け去らむとする稅田の袖を引き止めた、稅田は狂暴の如に彼女の遮る手を拂ひのけて遂に急坂に身を消した間もなく彼は成田屋豆八（國千代は誤聞）の實家に寄食する事になつた、龍子は斯くまで身に苛み苦しめた稅田を忘れる暇はない。

何 時かは彼の心は再び自分に戻る日は來るであらうと遙に神を念じ佛を祈つて居た、然るに永久に歸り來る日は無い。六月二十一日彼女は愛する稅田が豆八の實家より本町署に檢擧された事を知つた、稅田の一大事を知つた彼女は身も世もあらず泣き沈むで居る、朧月が京城の街を照らす深更、

龍 子は力ない身を鮮銀行の石段に佇ませて本町署の留置場に呻吟する稅田の身を憐むで限りなく涙を流して居る毎夜彼女の姿は鮮銀と白い石段の前を彷徨して居る藝者の豆八は暗い一室に妊娠三ヶ月の身を臥せて世を果敢なむで居る

所謂東大門署の某重大事件の眞相
事件に似たものはあるらしいがまだ海か山か判らぬ

昨報した府内東大門警察署が大活動を續けてゐる某事件は頗る誇大されて傳へられてゐるが右に關し

警 務局の山口高等警察課長は語る『各新聞が筆を揃へて報道してゐるので今電話で照會した所が事件に似たものはあるらしい東大門署で陸軍兵器廠に關する書類に就いての犯罪を檢察しつゝあるので未だ海の者とも山のものとも分らない。殊に其兵器廠に關する書類が果して

新 聞紙の傳ふる如き軍機漏洩になるかならぬかさへ問題である廿日に千葉道警察部長が軍司令部を訪問したナンテ傳へられてゐるが當日は警察署長會議で自分も同席に在つて警察部長と朝の十時から午後四時まで共にゐたから

軍 司令部訪問が事實とならば時間外にでも行つたのか。兎も角東大門署長とも一日顏を逢はせてゐたが何の話も聞かぬ

憲兵隊では斯う言ふ

目下東大門署で檢擧取調べ中である鮮人某が陸軍部内の重大機密書類を携帶してゐたと云ふ件に就いて憲兵隊幹部將校は交々語る『未だ警察の方から何等通知が無いから如何なる種類のものか判明せぬ、察する處旅館に泊り合た將校の鞄からでも盜んだ會議の書類ではあるまいか然も軍隊では未だ幹部の手元に置く場合如何なる報告書も秘密の印章を押捺して置くから或は其の種の書類で機密書類では無いと思はれる、兎に角只今の處は確答は出來ないが當局は左程大事件とは思つてゐない』

東京大相撲入城
明日から響く長谷川町の櫓太鼓の音と一緒に興行する

太田興行を打上げた東京大相撲常の花千葉ケ崎一行は元氣旺盛二十三日深更大田出發二十四日午後九時三十分

南 大門驛着列車で入城した折柄降り注ぐ微雨を冒して驛頭に集まる出迎ひの勸進元である京久家主人を初め京城中檢新檢の美形數十と好角家花柳界有志數百、驛頭は珍しいほど多數の人力車が蝟集した中にサッポロビールの旗や樂隊が歡迎氣分を唆る、定刻騷然たる響きと共に

第 二步師に到着した列車から吐き出された愛想のよい大關常の花以下の一行は德川時代を思はせるやうな大髷に紹の紋付出迎への人達に『ヤアー〳〵』と久闊を敍すやら挨拶やら、斯くて樂隊のマーチ賑かな中に一同は驛頭から各宿から差廻した自動車人力車に分乘して花月

千 代本等定めの料亭に向つたが廿四日は各自最う腰を据ゑて休養廿五日から愈初日、二十四日の微雨も午後からは晴れ上り氣來であるから二十五日は大丈夫初日の蓋が明くであらう一行中宇都宮は病氣の爲め不參御西山は內地で巡業前罹病し千葉の病院に入院加療中である

初日取組

初日の取組は廿四日左の通り發表した

（常の花 小野川）九州山（東雲 千葉ケ崎）
（對馬洋 若常陸）矢筈山（綾鬼 鶴ケ濱）（錦洋 若葉山）（綾柏 綠山）
（朝の森 千葉の濱）雷ケ梅（西の梅 陸奥錦）出羽ケ嶽（一の濱 小金山）
（常陸岩 清水川）

婦人見學團の水道見學は明日
團体申込も非常に多い 是非御參加を願ひます

愈々迫つた本社第十二回婦人見學團は婦人の科學教育として時節柄必須なるものである一方暑いても涼氣迫る漢江下の景物があるので

非 常な人氣を呼び參加申込は着々到着してゐますが申込の締切は最う廿四日限りなのです、猶團體申込も多數らしく既に廿四日午前、淑明女學校職員生徒五十餘の團體申込があり京城高等女學校、京城女子技藝學校等よりも有志が參加するらしい、

水 道課と協力して本社は道廳の團員各位が如何に多數でも遺憾ない設備をする筈です、本日より本社係員と水道課員とは當日の諸設備を開始しました京城仁川兩水道水源地共に綠陰濃い若葉の下に天幕を張り萬國旗を吊るし快よい飾り付をする筈で漢江下りの

傳 馬船數十もすつかり裝ひを凝らす筈ですから當日の漢江下りは恐らく充分御滿足を得るでせう。當日の茶菓の饗應はホンの僅ですが團員各位に漏れなく御接待申上げる筈で講演後の餘興は本社でスッカリ計畫されてゐますが此は天機漏らすべからずです。

御注意

猶當日は左の注意を御守り下さい
一、攜帶品は往十里の集合所で係員に御預け下さるが便利です
一、團體行動中は一切係員の指揮に從はれたし
一、當日集合の時間嚴守
一、當日病氣其他の事故に對しては救護班の準備もあります

宣川郡に 牛疫發生
防疫上交通を遮斷す

平安北道宣川郡に於ては六月十七日牛疫發生し病毒益蔓延の虞あるを以て之れが豫防上交通遮斷及市場開設を停止するの必要あり二十五日總督府告示を以て同地方一帶牛、羊、山羊及豚の出入運搬を停止する事となれり。

運動界
鮮少年野球大會

雜誌新友社主催、本社並に朝鮮體育會主催の全鮮少年野球大會は廿三日其第一日を擧行觀衆千を超ゆるの盛況戰蹟左の如し
△中央主日學校對普成普校十四對一で中央軍優勝
△水原商業講習所對平壤主日學校十二A對一で平壤軍大捷
△長源學校對貞洞主日學校五對四で長源軍大捷
△協成主日學校對普仁學校十一對五で普仁軍捷つ

エピソート

▲開島在住の宣教師パーカー氏が經營する兆咸數の恩信學校では過般鮮人經營の永信學校と聯合で大運動會を開催したが恩信學校側の審判者が不公平だと云ふので大闘爭を惹起し負傷者を出した▲加害者として數名は官憲に逮捕目下嚴重に取調べ中だ相である▲此闘爭は同地方に於ける米人と鮮人との感情の疎距に歸因したもので將來益此傾向を深めやすと憂慮されてゐるとか

[illegible]既報の如く本町署に檢擧せられたるモルヒネ密賣者井官政太郎[illegible]法主任の取り調べを受く[illegible]は連日長岡司法主任の手に取調べ中なるが一萬四千九百圓[illegible]了せず[illegible]合にて右現金を午後に至る[illegible]數へ居たるが十二時に至るも終[illegible]故賣者吸飲者の大檢擧は愈開始されんとしつゝあり署內は異常[illegible]年に亘りて大密賣を行ひ其の不當利得は巨額に達し[illegible]犯者[illegible]商會雇ひ人池川光と共謀し數[illegible]共犯多數ある見込にて[illegible]

讀者優待
京城興行中
東京大相撲割引券（一枚一人限）
割込 二圓二十錢を二圓に
土間 一圓七十錢を一圓五十錢
京城日報社

新茶品揃
氷菓子 新ヒキ茶 宇治屋特製ホーージ茶
京城明治町
宇治屋
電話四二二番 振替九七六〇番

琴三味線
京城本町一丁目 喜樂館横
米川樂器店
電話二八三六番

特許辨理士 辯護士
吉田仙宗
京城府南大門町三番地（京城倶樂部通り）

ゴム靴 自轉車 タイヤ 營業所
神戸市元町六丁目
合資會社 神戸屋ゴム製造所

開業披露
產婦預り所
豫て新築中の處今回落成に付入所御希望の方は左記御承知の上御申込被下度候
記
妊娠中一日賄料其他共一切 一金七拾五錢也
分娩後一日賄料其他共一切 一金貳圓也
右之通りに候也
大正十年六月十八日
龍山漢江通十一番地 龍山看護婦會長
產婆 澤入ツマ
電話一〇二四番

例年ノ通リ御用命ヲ願マス
舊龍山龍山終點前
貸遊船
共樂社
社主 宮山武盛
電五二八番

從來本社鮮滿支社會計主任囑託致居候處今般辭任致され候に付自今當社と關係無之此段廣告候也
今般本社鮮滿支社長に西村元就任致し候に付不相變御引立願上候也
報國公債株式會社

謹啓暑氣之候各位愈々御清穆之段奉慶賀候陳者小生儀在職中は不一方御引立を蒙り御蔭を以て社業も日増し隆盛の域に相向ひ候段偏に各位の厚き御引立の賜と辱く奉深謝候小生儀今般本社監督部長として不日赴任致す事に相成候に付此段乍略儀以紙上御挨拶申上度如斯御座候
大正十年六月二十三日
報國公債株式會社
城平芳造
梶原末太郎殿

土木家養成講習錄
最新式通信教授にて土木學の一般を授け五ヶ月にて修了の講習生を募集す
技師養成速成
申込次第詳細規則書無代進呈
東京市京橋區南傳馬町 通信工手學校

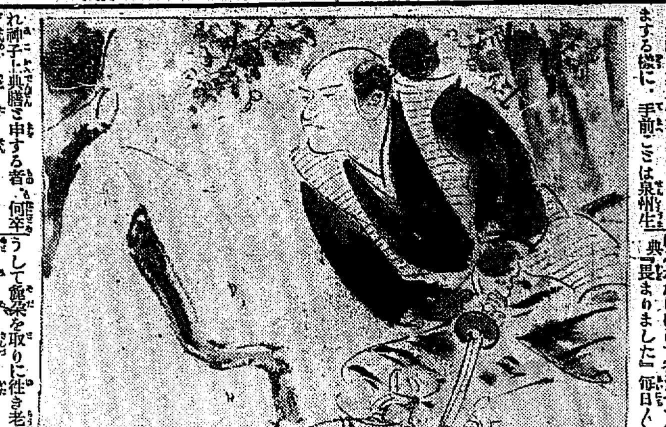
仁川實業團は最近新設を加へてABの二組に別れ盛んに練習を續けつゝあり一方全市の熱心なるファンは全仁川の野球後援

長女榮子儀豫て病氣にて入院中の處不幸二十三日午後死去致候に付此段謹告候
追て葬儀の儀は吉野町一の九五に於て執行可仕候
父 古閑豊記
友人總代 近藤脩

父松尾茂吉儀病氣療養中の處遂に二十二日午後十二時永眠仕候三日午後[illegible]付謹告仕候
追て葬儀は[illegible]
男 統一
弟 勝井
親戚總代 河村國太郎 陶山武二 白井水城 松寺竹雄 藤村忠助 大垣丈夫
友人總代 芮宗錫 李相協 鮮于日

寛永御前試合

第十一席　小金井芦洲講演



老『ハハツ〳〵ハツ、いくらお前がかんでも駄目だ、力では取れぬ呼吸でなければ取れぬ、サアモウ引け引け、引いて見い』と老人は色も變へず泰然自若こして居る、引かうこ焦慮れば焦慮る程却て前の方へ引かれて往かれそうだ、纏緣のこころへ兩足が引つ掛つてモウ一足引かれるこ盤へ落ちる　老『アハツ〳〵ハツ何うした若いの……降るご見れば戀らぬ先に挪べかし雪には折れぬ青柳の枝』思はず袋竹刀をパッタリ取落し後に退つて兩手を仕へ　典『ハ、ッ恐れ入りましたる御老人の仰せ、只今までの無禮の數々何卒御赦し下さりまする様に。手前こそは泉州生れ神子上典膳ご申する者、何卒御姓名を伺ひ度う存じまする、老『分つたか當敦賀に道場を開き六七年前まで多くの門弟を取立て居つた伊東彌五郎景久だ、典『エッ、扨ては伊東先生にござりましたか　翁『典膳ごやら年は若いが却々氣合がある、四五年間修業をしたら一廉の腕前にはなるだらう、諸國を彷徨すは私のこころで薪水の勞を取る氣はないか　典『願ふてもなき幸ひ未熟者ではござりますが何卒お取立の儀を願はしゆう存じます　翁『然らば留まるが可い、お前こ同國の產で私の鑑識に叶ふた者が一人あるが二ヶ年以前諸國を修業して來いご申して出して遣つた何れ其中には戻つて來るだらうから先ア當分私の手許に居て見なさい　典『有難う存じまする』こ是れから厄介になりましたが何も竹刀を取つて敎へて呉れるのではない　翁『コレ典膳薪を取りに行くから一緒に來なさい　典『ハイ』裏の物置から運ぶ尺の附いた脊負子を持出した、翁『之れを脊負つて往きな　典『ハイ』言はれる儘に從ふて往くご聊か平なこころまで來て　翁『此の灌木の傍に出て居る枝をお前飛掛つて切つて見なさい　典『ハイ』後に退つて横へたる一刀の柄に手が掛るご言ふこ　典『エイ、ヤツ、ボカーリ　翁『コレ〳〵まだ往かん其那事ぢや却々切れん、此方のを切つて見なさい　典『エイ……ヱイヤツ』翁『夫れでは往かん遣方のをやつて見なさい　典『ハイ……ヱイヤツ』と瞬く間に飽朶が出來た　翁『今日はこれだけにして脊負つて往け　典『畏まりました』毎日〳〵斯うして飽朶を取りに往き老人は後に見て居て指圖を致します、朝は早くから起て飯を焚き晝は薪を取りに往き夕は山を下つて町へ日用品を買ひに往き、夜は先生の武藝談を聞く、丁度此の山へ來つて足掛け三年前二年　翁『典膳　典『ハイ　翁『イヤ何うもお前は却々會得が早い、モウ一刀流は確かだ、其處で今度は悟道徹底ご言ふ事を敎へて遣る、悟道は禪家から出たもので、人の心を安らかに納まる様に悟りの道を開かんければならぬ其中にも武士は殺伐の劍を腰に佩へ只無暗に人を斬る様な事では徃かん、今日から汝に油斷がある三言ふこ夜ご晝ごなく打つからな、氣を附けろよ、打たれぬ様にならなければならぬ　典『エ、有難い事にござります』こお禮を述べてヒョイご頭を上げるこころをボカリ　典『ア痛タッ』……恐れ入りました　翁『然う隙があるから不可んご言ふのだ　典『恐れ入りました』ご頭を上げようこするこころを　翁『エイ』ご打込んで來る奴を擶然體を傾すならぬ』翁『ウム豪い然う往かなければならぬ、念だ、聊かでも油斷をするご引叩かれる。

トランク カバン　向井商店　京城本町二ノ一四

牧野氏皮膚科副部　内科小兒科 皮膚花柳科　永樂醫院　院長 今村純義　京城永樂町二ノ七 西本願寺前　電話一九四四番

京城明治町 電話貳三四〇　產科婦人科　中央婦人病院　院長 衣笠舜山

土居八段 鮮滿巡遊棋譜　第參局ノ(完)

於木浦榮山旅館

飛落 八段 △土居市太郎(東京)　三段 ▲松本武正(木浦)

(圖は前號指了迄の兩局)

▲持駒 松本氏銀桂歩三

△五四金 ▲二六角ナル(ワ) △三七歩ナル ▲同馬 △八七歩 ▲六八桂 △同歩 ▲同銀 △同と ▲同金 △八八歩 ▲六九王 △七八銀 ▲同金 △同と ▲同王 △六七角 ▲八八王 △七六桂迄にて土居氏之勝

講評 ▲(ワ)二六角なれば惡しく此處最早上手を攻撃するより入玉が心懸るべし

總評 本局は最初下手方居飛車引角の策戰に出でたりしも上手方に三筋の位を占められしより幾分指し嫌き棋局となれりしが六二銀の時八筋より極力攻撃の手段を採りし故形勢伯仲となりて頗る緊張したるも上手方は八八歩八六歩等の輕妙なる手段をもして敵をケイセイし入玉手段を採りたる時下手方も續いて入玉手段を講ずべきを敵に肉迫したる爲め力盡きて遂に敗られしは惜しき棋局なりし

六月二十六日（舊暦五月廿一日）

▲日曜日 ▲庚申 ▲六白 ▲暗劍戌 ▲先勝 ▲盧宿

▼六白▲變化多く進み過ぎ退過ぎては後悔する日慎みを要す
▼七赤▲穩かなれ怠らずば八分の利益あり開店旅行結婚其他吉
▼八白▲利得ご人望を併せ得べく女子は出世の端緒にありつく
▼九紫▲逆上の日活氣に乗じて妄進すれば失敗あり新事は見合
▼一白▲吉事續出の日他人の世話事を除く外は凡て何事も大吉
▼二黑▲居ながらにして功成るの日商取引に吉但し散財を誡む
▼三碧▲諸事徒勞に歸し易く無茶苦茶な事ある日新計非携日吉
▼四綠▲周圍何彼ご煩々しく利に疎き日寸時も心安らかならず
▼五黃▲瑞兆室に滿り諸事大發展の日姿子姿女を定むるも亦吉

大邱客月貿易

【大邱】五月中大邱稅關出張所[illegible]輸出入は八四萬六千[illegible]三百五十一圓[illegible]三千[illegible]三十六圓[illegible]なるが之を前年同月に比すれば[illegible]の増加を示せり[illegible]輸移入の減少は砂糖四千圓[illegible]二十二萬九千餘圓人參[illegible]紙二千二百餘圓を增加せりと[illegible]

精武官[illegible]

[illegible]田知事同乘來壌し[illegible]明治旅館前[illegible]には渡邊内務部長、小松警察部長以下官民多數の出迎[illegible]

[illegible]竣成す

[illegible]工場[illegible]開いた、此の工場は工費約十五萬[illegible]北鮮名產のポプラを使用し[illegible]北鮮地方入[illegible]

[illegible]九時卅分新義州驛發[illegible]一泊の上廿三日[illegible]

祝仁川支局開設十五週年

製鹽業並に同酒業　仁川海岸町　堀商會　電話一四〇七番

仁川　中島覺之

仁川本町四丁目　別府自動車部　電話六六〇番

仁川海岸町　不二商業株式會社　仁川支店　電話六三番

仁川宮町　上田文次郎

仁川本町三丁目　土木建築請負業　田中又太郎　電話一一五番

仁川支那町　仁川水產株式會社　電話一八六番

船舶代辨並回漕業 免許稅關貨物取扱人 鐵道承認貨物取扱　仁川本町四丁目　㊊朝日組本店　長距離電話五二九 電略(ア) 振替口座京城六一一番　仁川稅關構內出張所(電話五一六番)　支店所在地 京城、鎭南浦、釜山

仁川山手町(穴門通)　能治齒科醫院

諸雜貨卸商　仁川本町　井上藤吉商店　電話八六番

深川汽船株式會社　仁川出張所　電話長七一六番

仁川宮町(電話一三九番)　仁生堂藥局　處方調劑所

仁川山手町(元鈴木別莊跡)　御料理　食道樂　別莊　電話六番

仁川　武藤倍雄

仁川山手町三丁目　株式會社　奥田精米所　電話長六〇八番

仁川港町六丁目　内國通運株式會社　仁川支店　電話長二一八番 五五九番

仁川濱町(元ヒリツプ跡)　赤門　會席御料理　菊茂登　電話四一四番

仁川仲町一丁目　御料理　朝日樓　電話五三番

仁川仲町一丁目　仁川ホテル　電話五二番

仁川宮町三丁目　吉田精米所　電話四五二・三一七番

貴金屬時計商　仁川本町四丁目　糸岐商店　電話三七〇番

仁川仲町一　原金旅館　電話三番

仁川山手町　會席御料理　銀水　電話二二番

仁川濱町　仁川造船鐵工所　電話三八番

仁川本町四丁目　杉野商店　電話一〇二番

仁川　熊野惠賜

仁川宮町　木村幸三郎　電話四六番

貿易商　仁川海岸町二丁目　庄野仁川支店　電話長五四番

回漕業代理業　仁川本町四丁目　浦崎商店　電話一〇八番 五五番

日鮮向雜貨商　仁川本町四丁目　南方商店　電話一六六番

西洋料理　仁川宮町　東洋軒　電話三三四番

洋酒煙草　仁川宮町　越智商會　電話七三八番

府立仁川病院　電話 受附用一六番 病室用一〇二四番 院長自宅用一〇二二番　●レントゲン診斷及治療開始致候

仁川　丁致國

仁川海岸町　三井物產株式會社　仁川出張所　電話二六一番

仁川宮町　米穀商　鳥居商行　電話六三六番

仁川驛前　運送業　中條榮造

仁川　齋藤小一郎

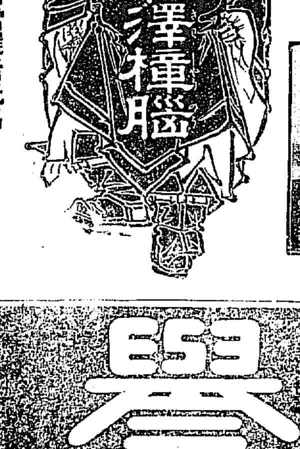
仁川本町　野田齒科醫院

仁川本町二丁目　廣澤正次郎商店　電話一六〇番　宮町二丁目　同米穀部　電話三七〇番

仁川　吉松憲郎

海陸運送業 内外船舶代理店　野口商會　仁川本町四丁目　電話一七三番

懸賞當籤發表



謹告

弊店が去月中旬全國百貳拾餘種の日刊新聞に廣告して藤澤樟腦の懸賞答案を募集致しました處應募答案左の通りの多數に上りました

答案總數 四[illegible]貳千貳百九拾通
内譯 正解答案 貳萬八千〇五拾通　不正解答案 四千百七拾壹通　締切後發信 六十九通

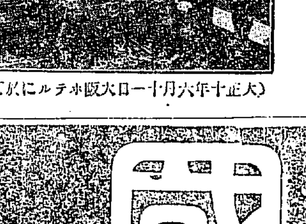
右正解答案に對する抽籤は本月十一日大阪ホテルに於て大阪朝日大阪毎日大阪時事京城日報等各社員の立會の下に公平嚴正に執行し左記の如く當籤決定致しました其の經過の大要を報告すると同時に御應募各位に對し其の御好意ご御努力に就き深く感謝の意を表する次第で御座います

大正十年六月　藤澤友吉商店擴張部

□問題及び正解答案

（問）藤澤樟腦の商標は？（答）鍾馗です
（問）藤澤樟腦の特長は？（答）效力確實、芳香爽快、使用輕便包裝親切、永保鍾馗（此内三つ記載あれば正解とす）
（問）お髮に結び込むには？（答）髮の根元へ結び込む（樟石形が適當）
（問）御覽になつた新聞は？（答）何々新聞です

懸賞答案抽籤會



（大正十年六月十一日大阪ホテルにて）

□當選者氏名

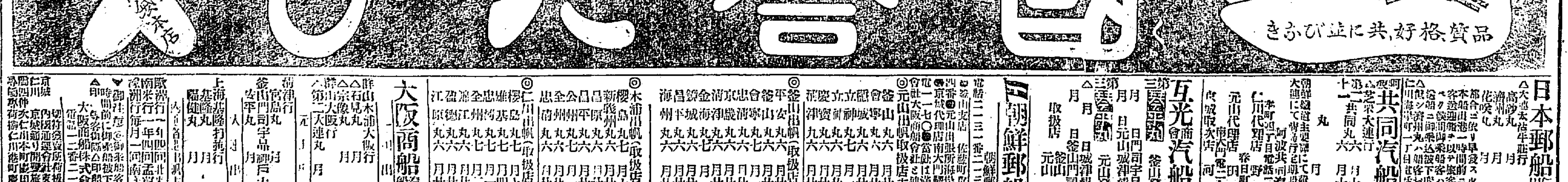
一等 十八金側懷中時計 壹個 一名　天賞堂發賣　金鎖、金鈴附、附屬品共保險證書附
福岡縣八女郡福島村本分下二四 坂本カツキ君

二等 寶石入金指輪 壹個宛 五名　保險證書附サック入 天賞堂發賣
熊本市外春竹村三〇 寺脇俊子君　橫須賀市稻岡町六六 内田細方志君　大阪市南區天王寺阿部野筋二 佐竹高大君　東京市本所區吉岡町一七 芝山君代君　佐賀縣杵島郡大町村福母 石田セツ子君

三等 特製化粧袋 壹個宛 十五名
小林かめ子君、渡邊勝之助君、佐藤貴司君、丸山四郎吉君、鈴木卯平君、杏間忠治君、上村マス子君、辻辰一君、森寺ジョシ君、奥村けい子君、石鍋キク代君、伴のぶ君、進藤治子君、桝井いさ君、阪納金右衛門君

四等 特製紙入 壹個宛 百名
篠原善次君、伊藤忠雄君、宮地たか子君[illegible]

五等 藤澤樟腦 三個入 壹個宛 千名
多數に付氏名の掲載を省略します當籤者諸君に對しては當籤通知書に賞品を添へ全部發送致しました



日本郵船仁川出帆

▲大連天津牛莊行　高砂丸 月 日正午出帆　濟州丸 月 日正午出帆　花咲丸 月 日午前出帆 [illegible]

共同汽船仁川出帆

芝罘大連行　共同丸 六月十七日正午後入港 十九日正午出帆　第二十二丸 [illegible]

互光商會汽船出帆

[illegible] 釜山發 [illegible] 仁川代理店 野口商會 [illegible]

朝鮮郵船定期

[illegible] 朝鮮郵船株式會社 [illegible]

大阪商船出帆

[illegible]

…に集團し其の頭目は父の仇を報[illegible]…

商業資金動く

殖産銀行に於ける商業金融は[illegible]至つて盛に資金を増加せり[illegible]三千百萬圓と[illegible]

産鐵存續と私鐵の將來

西島殖鐵常務談

産業鐵道會社の存續に決定したる事は獨り同會社の爲めのみでなく朝鮮鐵道界の爲に慶賀に堪へない同會社の今後に就いては只存續させたと云ふ許りでなく之を徹底的に助長發達せしめなければ存續させた意義が徹底しない譯で之は獨り同社に限定された問題でなく一般鐵道業者に對しても官民一致の援助を希望する次第である國家が鐵道に對する保護の根本義に於て徹底せしむる事が最も必要であると思ふそれには先づ第一に現行鐵道諸法規に對する解釋及運用は勿論其他必要に應じて法規の改正を行ふ事が最も肝要である、結局我々の希望は現在の配當補給よりも配當保證と云ふ事に進ませたい事にある之れは鐵道業者のみの希望でなく産業開發の方面から見て一般の希望であろう法規の解釋及改正等に就ては當局に於ても相當の諒解ある模樣なれば他日其の機運に達すべきを信ずる、然し乍ら國家の財政は中島施設多端の折柄鐵道ばかりが補助を何時迄も依頼すると云ふよりも

徹底的運用

獨立自營の

域に早く達する事を我々は希望して居る私設鐵道が何れも其の事業内容に於て運輸のみならず其他の事業を兼營するに徹しても此間の消息が分る、私設鐵道會社をして獨立自營の域に入らしむるには各鐵道に對し朝鮮統治上支障なき利權を與へ其利益によりて自活し得る方法を講ぜしむるなぞは賢明なる方法ではあるまいか所謂拓殖鐵道法の如き施設に因つて保護を與へ之れを發達せしむる事が朝鮮鐵道開發に對する最も適合した方法であろうと思ふ

銀行滿洲囑目

金建の影響

從來大連を始め滿洲各市場に於ける邦銀の發展は正金朝鮮の兩特種銀行に限られ

內地普通銀行にして

內外各地に多數の支店を有する向も同方面に對する發展は聊か閑却せる嫌ひなきにあらざりしが今回の金建實施を機會として滿洲方面の業務進展は多大の興味を喚起し近頃有力銀行にして彼の地の金融經濟事情を調査し追つては支店の派出を私かに計畫せる者もある如く亦有力銀行家にして同地方に於ける金融は十分鮮銀正銀の二者に委することなく其他の有力銀行の發展は同地方經濟開發の爲め缺くべからざる事を力說するものもあり

金建實施と

兎も角

共に將來の爲替に伴ふ營業上の危險も輕減せられし譯なれば一般銀行としても其だやりよきこころありて近頃銀行家の注意を呼びつゝあるは事實なり(大連支局)

五町歩移民歡迎

山口東拓參事談

東拓移民募集の爲佐賀、山口、熊本各縣下に出張巡廻講演を爲し此程歸任したる會社京城支店山口參事は語る

財界不況に拘らず佐賀、山口、熊本各縣下に於ける地價の如きは案外に低落し居らず從つて土地の賣買移動もなく小作人の選定に困難を感じ居る狀態にて相當有識者は何れも朝鮮に着目研究し居るもの、如し從來二町歩移民募集當時に於ては優良なる小作人の減少を憂へて縣當局を始め地主側に於ても多少移民募集にある事を以て縣當局も有者講演を嫌忌したる傾向ありしも今回は五町歩即ち地主移民の募集にある事を以て縣當局も共に大に歡迎せられたると共に講演會に集合する聽講者は毎回二百名以上に上るの盛況を呈し天草に於ける講演の如き十里餘の遠方より來りたる者もありしこの事にて內地一般が朝鮮に着眼し來れるは昔日の比に非ずして今回の巡廻講演も相當の成績を收め得たる事と信ず云々

産鐵重役留任

産鐵解散問題發生當時に於ては會社一部重役間に於て引責辭職の說もありなるべく其後幾多の曲折を經て存續經營の事に決定したるを以て此際辭職するよりも將來の經營に盡力する事を最も適當なる所以となし居れるものゝ如く從つて此際四關の事情に徹して當初辭意を傳へられたる藤山社長始め其他重役中にも移動を生ずるが如きことはなかるべく來るべき臨時總會に於ても此方面の問題は起らざるべし

各地籾相場

酒輪移入額は約十萬函にして大正八年に於ける輪移入額と大差なき成績なりしが本年は下半期に於ける賣行きが上半期の取引狀況より察すれば市内は兎に角地方の景況思はしからざるを以て上下一年を通じたる賣行きは前年に比し一割五歩乃至一割七八歩方の減退を免れざるべしと觀測せられ居れり

▲二十一日 忠北槐山に於て昔又一石五十圓交白繭六十圓にて二百二十石の取引あり
▲二十一日 平南江東に於て交白繭一石に付五十六圓にて二十三石の取引あり
▲二十一日 忠州に於て交白繭一石五十三圓八十錢又昔五十三圓六十錢にて二百二十五石の取引あり
▲二十二日 慶南金海に於て交白繭一石六十圓にて三百五十石の取引ありたり
▲二十二日 忠南禮山に於て交白繭十貫八十一圓四十錢にて三百貫の取引ありにり
▲二十二日 全南長城に於て又昔一石七十三圓七十錢交白繭七十五圓十錢にて百三十石の取引あり
▲二十二日 咸南安川に於て又昔一石七十五圓七十錢交白繭六十一圓九十錢にて五石の取引ありたり
▲二十二日 忠州に於て交白繭一石五十三圓三十錢又昔五十二圓九十錢にて七石の取引ありたり

當座貸越引下

京城組合銀行の當座貸越利率は三、六、九、十二の四期に分ちて利率計上をなし大體は一般商業手形の利率の高低に追隨して高下をなし居りて既に一般貸、金利の引下當時に於て貸越利率も引下げたるも中には特種なる事情の下に据置きとなれるものに對しては現時決算期に於て一二厘方引下げを見るべしと

龍山工作綱會

龍山工作株式會社にては來る三十日同社樓上に於て定時株主總會を開催すべきが今期利益金は八千百九十五圓五錢前期繰越金一千四百九十七圓九十錢合計九千六百九十二圓九十六錢にして之が處分案左の如し

▲諸積立金千七百圓▲役員賞與八百圓株主配當七千四百年一割後期繰越金百九十二圓九十六錢

○京城金利二十三日現在左の如し

	東京	大阪
コール	一三、〇	一三、〇
無條件	一一、〇	五、〇〇
翌日物	一九、五	一九、〇
六十日物	一一、〇	二三、〇〇
普通割引步合	二四、〇	

○日銀帳尻 二十二日現在左の如し

發行高	一、〇九一、二八五
正貨準備	一、〇九一、二八五
發行餘力	一二〇、〇〇〇
貸出高	七七、二二〇

京城交換膨脹

京城手形交換高は最近非常に增加し來れるが這は從來凡調なりし各取引の膨脹し來れると共に資金需要の增加し來れるものと云ふべく一月以來の每月一日平均交換高を示せば左の如し

月次	一日平均交換枚數	一日平均交換金額 千圓
一月	三、〇三〇枚	一、二八九
二月	二、八三五	一、一九六
三月	三、〇五九	一、二九二
四月	三、三九七	一、三八六
五月	三、六八八	一、七七一
六月二十三日迄	三、七三四	一、九三四

麥酒賣行減少

麥酒季節に入り各社の爭覇戰漸次激烈の度を加ふるに至りたるが何分一般財界の不況に押され十分なる需要を喚起するに至らざるが如く一月以降今日迄の賣行きは昨年同時期に比し約三割の減少を示し居れりと云ふ聞く處に依れば昨大正九年中の

金剛砂

▲米國では中央商務局の設立計畫をなして居る▲其の第一步として、マニラに米國生産品の集散根據地を設ける爲に既にローガン氏を出張せしめる筈だ▲同氏はマニラに於て米國製産品を集散せしむるに最も合理的だと言ふて居る▲兎に角に戰後各國の經濟戰は益猛烈ならんとする▲例の財界好調時にも好影響を受けなかつた代りに憚り乍ら不況時にも大した怪我はないと云ふ朝鮮財界の鬪士の面々も益緊揮一番の時期である

株式 (廿四日)

現株市場出來値

銘柄	前場 今週中	前場 來週中	後場 今週中	後場 來週中
京取	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

乙の部

短期取引

東京現株

銘柄	廿四日前場	廿三日後場
鮮銀	一二七・〇〇	一二七・五〇
同新	四三・五〇	四四・〇〇
東拓	五九・〇〇	五九・二〇
同新	一八・八〇	一九・〇〇
滿鐵	一一九・七〇	一一九・五〇
同新	二六・五〇	二六・七〇
殖銀	五三・二〇	五三・五〇
同新	一六・三〇	一六・五〇
東株	一四三・〇〇	一四三・〇〇
同新	一一六・〇〇	一一六・〇〇
運取	七五・〇〇	六八・五〇
滿毛	一五・〇〇	一五・一〇
朝紡	一八・〇〇	一八・五〇

安東株式

	寄付	大引
○廿三日後場 安取當	一五・八〇	一五・八〇
安取先	一六・〇〇	一六・一〇
○廿四日前場 安取當	一五・九〇	一五・九〇
安取先	一六・二〇	一六・二〇

大阪株式

銘柄	二十四日前場寄付	二十三日後場大引
大株	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]
日糖	七九・〇〇	七九・〇〇
上取	七三・六〇	七四・〇〇

銘柄	二十四日前場大引	二十四日後場寄付
大株	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
郵船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
商船	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
鐘紡	[illegible]	[illegible]
同新	[illegible]	[illegible]
東紡	[illegible]	[illegible]
日糖	八九・二〇	八九・四〇
上取	七三・七〇	七三・五〇

前場は鈍狀

今朝は週末接近と共にマバラの手仕舞を喚び買方主力も強いて此邊買進む振合なきまゝ相場は概してボンヤリの商狀を呈した即ち京取は短期七十四圓四十錢と前日引値と同事に寄りしが跡小刻みに漸落して三圓八十錢と引け六十錢安今週は四圓廿錢と寄り跡十錢刻みに一落して七十錢安值に九十錢と小戾して引け三十錢を揉み合二の廻り四圓三十錢安で引け、來週四圓九十錢に寄り五圓を八十錢と四十錢安京信は今週六十錢を辿り二の廻り來週末の手詰投げを喚びて一圓八十錢安に寄り跡漸落十錢と暴落し

安 二圓四十錢

來週は三圓と寄り跡二圓四五十錢處に迫込まれ二の廻り更にマバラの恐怖投げに一圓ドタの安值を見せたが此の邊押目待の買物に引戾し一圓臺に引戾しそ反撥し再び二圓六八十錢と見せて大引三圓と打止む大新は阪地の氣配ボケを入れて今週百十六圓二十錢と一圓九十錢安く來週十八圓十錢に寄り七圓丁度を安值に八十錢と返し八十錢安短期は十八圓に寄り六圓十錢を安值に九十錢と引け一圓三十錢安

主要株歩ミ値段

弱氣は從來高值を摑んだ手持株の賣拔け策に腐心して居る試むる結果と觀測して居るは合併問題の如き何時實現するか判らぬのを目當に買ふものに非らず會社今日の業績よりして低當を見越し得るを以て四十株數不足と相俟つて買に妙し値を殺して安值を仕込まんとする仕掛であると見て居る

前場					
京取(今)	七四、二〇	一〇	七〇	九〇	四〇
	三、九〇	八〇	一〇	一〇	
(來)	七四、九〇	五、〇〇	五〇	二〇	
	五、〇〇	一〇	四、八〇	七〇	
	八〇	七〇	六〇		
京信(今)	四三、八〇	六〇	五〇	二〇	
	六〇	五〇	四〇	三〇	
	一〇	三、〇〇	二、九〇	八〇	
(來)	一、八〇	四三、〇〇	一〇	五〇	
	一〇	七〇	六〇	四〇(來)	
	七〇	六〇	五〇	四〇	
	九〇	八〇	七〇	六〇	
	四〇	三〇	二〇	一〇	
	〇	三〇	二、〇〇	一、九〇	
	八〇	六〇	三、〇〇	二、六〇	
大新(來)	一一八、一〇	七、四〇			
	七、〇〇	八、一〇			

出來高 甲	六千二百四十	
乙	三千六百十五枚	
累計 甲	二十六萬七千十枚	
乙	八萬二千五百九十九枚	

短期取引

	前場	
京取	七四、四〇	三〇 一〇
大新	一一八、〇〇	九〇 八〇
	三〇	二〇 一〇
	四〇	三〇
	六、五〇	二〇
	九〇	二〇 三〇
出來高	千五百十枚	
累計	七萬三千六百九十枚	

株界片々

▲大待合の京取は何處迄も變動が無いのは何事が無い證ぢや無いか夫れを知らぬ儘で經過しても何れ週末には三つ株價を示すか▲相場が或は兎角下に深い相場も當分の間は上には當分氣は夏季に無い、弱氣は夏手に進むと共に

相場は夏手に無いのたらうから市場の人氣分と無いので共に一段の低落▲人氣分を濃厚ならしむれば結局は益々持合氣分を濃厚ならしむれば結局は益々持合氣分を濃くする一方であつて來る週も持合相場なれば又來る週も持合ふ事になる▲マバラが買はぬのは非常に損も云ひ▲マバラが買はぬのは非常に損もで早く變轉して居る關係上何度も逆潮に捉灯を付けても何日買浴せられるか判らないさいふ懸念があるからである▲北買物の無いのは事實浮動株が少いのは一面だけに如何なる變目を見せるかも限らぬさいふ處から形勢を傍觀して居る結果とも見らるゝ

賣らず買はず

京取は金曜日と云へば週末には跡二場を殘すのみなれば此の日は大抵前週の手仕舞をなすべき日となつて居るが今前場の如きは僅か三五十錢方の小弛みを見せたが商内は依然として細く僅かに手仕舞ひに乘替へ商內に了つたのは薄いたれず去ればさて買の妙味も薄いと云ふ値頃であり軟派は從來の失敗に懲りて賣込みを躊躇し弗のある賣方が無くなつた

賣方の無くなつた相場を獨相撲に煽るも愚の至り

さして北村一派が見送りの態度を取れる結果にして斯くては商内の細り行くも必然であるか此の賣らず買はずさい ふ事は即ち

伸びもせず縮みもせぬ

當面の原因である然し市場に於ける大體の出來高は僅は日々一萬以上を算して居る現狀であるから

實質上何等の悲觀を要せない

のみならず大保合の裡にも漸次整理さ分され眞に健全分子のみとなつた證據であるから一ケ月の藥餌を顧みて半期の相場に及ぶ時其處に樂觀の豫想ありにせぬかとも觀測される

京信の一波瀾

別個の信託會社計畫に伴ひ之を合併さ爲氣構へられて一時四十五六圓の引返した京信も新信託計畫の具體化せざる今日將來は兎も角四十五圓以上は買妙味乏しきものとされて手持筋の賣急ぎさなり再び漸落の途を辿りて今前場の如き今週三圓八十錢より一圓八十錢さ崩れ來週三圓に寄跡急落して一圓ドタの安值を現したが引際押目待ちの買物に三圓さ引返し一場の波瀾を描いた右に就いて

南源兵衛商店

京城株式現物市場仲買
(先名源太郎事)
明治町二丁目八十七番地
電話 長六七六番 一〇九六番
市場構內 一六三一番

大連株界

近來大連當所株及株信株は其の因て來る所の原價材料不明瞭なるも頻りに品懸を持續し八十九圓七十錢之に反して直取引は十一しつゝあるが二十日株信株定期取引は百九十九圓九十錢と云ふ不自然な値開きを生じたるが如きは取引所創立以來の奇現象さして頗る衆目を惹ける ところ是れば過日來當行官庶に於てしは取引所に對し再三注意せる所ありしにも關せず益々悪傾向を帶び來れるより取引所側に於ても默視するに忍びずさな!各理事者協首凝議中なりしが愈々前記の如く惡化の傾向甚

大阪濱崎商店特約店(市內構內)
京城株式現物取引市場仲買人
合櫻谷株式店
電話 一七〇四番 二八四番 三七〇番 信託部三〇六番 三五六番

烈なるより今は捨て置き難しさなし遂に二十一日前場の立會に於て突如四圓以上の値合を適用して株信株百十取引所の錯合は之を不穩當と認むる物取引所の定期、延べ取引、及び現ものあるを以て之が立會を停止するに至る旨を豫め告示せしが從來株式に於て當唐突の示達に憤慨して理事者の不當を鳴らし立會に入らざると同時に散會したるが二十一日以降の株信直取引は一時九十圓に暴落せり午後一時半に至るも事件容易に解決せず遂に前後到る善後策講究中なり(支局)

米況 (廿四日)

仁川期米

前場場直り

昨後場は雨待ちの雨に買氣を殺がれ阪地の鞘りも利目薄く二十二圓三十八錢さ安値止めを演じ尚今朝も買方の氣薄に當中出來ず先二十二圓三十錢と八丁安に寄付きたり

▲第二節 阪地電報の延著にて此邊ざる儘氣勢益々立會は當限二十五錢より八錢と締り先三十五錢よりも中六十錢と始めて一錢四十錢と盛返して

▲第三節 當中出來ず先四十錢▲第四節 當中出來ざるも跡阪地の小高に先四十錢より六錢と締り四錢と堅く

▲第五節 當中出來ず先買物薄に四十五錢より九錢と締り八錢と手堅き商狀を續けて引

▲第六節 當川來ず中七十錢手と堅く先四十七錢より五十錢と締り四十九錢と好勢に大引せり

雨相場一巡

過般阪地の二十八圓十五錢を眺めて二十二圓七十五錢迄吹出したる當市場は其後阪地の變りなきにも拘らず今朝二圓三十錢の不勢に寄付たるは要するに雨待ちの雨に買氣を殺がれし事はいふ迄もなし買方は此雨人氣が那邊迄相場を抑壓するか傍觀せる向多かりしも軟派は思ふ壺とばかり上を急がんとせる結果步調の引締めを促がしたるものにして此間に於ける軟派の態度より推せば最早下値は淋しからず正米の底堅き折柄にもあれ雨賣人氣も一巡と觀て可なるべし

賣方も浮腰

昨後場の形勢にては今朝は二三十丁下放れ模樣に見へしが立會へば儘に八丁安の仁川に寄付跡忽ち軟派の手詰め急ぎを喚び四十錢堅へ返しよ手も堅く保合てるは此急迫氣分はよ賣方は賣込みを恐れ目先の賣れる觀測を抱いて居た一軟派の浮腰ひ草にて事實腹の二底は押したる處を狗けんさする目算あるか如し

受米賣行く

地場の熱心強氣として注目され居る方面では前月の受米強萬石余に到り內地筋や地場の精米筋より頻りに買ひ交渉ありしも容易に手放す模樣なかりし武精米所へ、昨後場、一十一圓七十錢にて三千石取引

尙殘る部も賣交涉を持

行はれしより直ちに定期に身代り買ひをなし結局川米の吉田精米買所より直ちに定期に身代り買ひをなし居る有樣なれば之れも取引出來次第定期に向て買進まん意向なり

賣買差引殘

賣方	㊉一〇〇▲㊄四〇▲㊆一一
	四〇〇▲入市一〇〇▲九〇〇▲㊎
	八〇〇▲三引六〇〇▲㊅五〇〇▲㊈三〇〇
	一〇〇
	九〇〇▲㊀二〇〇
買方	㊀一〇〇▲㊁六〇〇▲㊂三〇
	〇〇〇▲㊃四〇〇▲⑤一〇〇▲㊆一、六〇〇
	〇〇〇▲㊄一〇〇▲丸北三、三〇〇
	〇〇▲山市二〇〇

吉金仲買店

仁川米豆取引所仲買人
電話長 八三番 八五番 七六番 四番

○二十四日前場 ▲二十三日後場

	前場	後場
寄付	二二、三〇	二二、四七
止値	二二、四九	二二、三八
高値	二二、五〇	二二、四七
安値	二二、三〇	二二、三八

○前場公定値 ▲後場公定値

	前場	後場
一節	二二、三〇	二二、四七
二節	二二、四〇	二二、四〇
三節	二二、四〇	二二、四〇
四節	二二、四〇	二二、四〇
五節	二二、四七	二二、四〇
六節	二二、四八	二二、三九

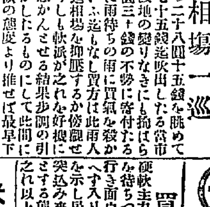
值段	入(當中限) 二二、二〇	二二、四〇
	先限	
現在	一萬六千石 一萬六千石	
取組高	一萬五千石	
出來高	五萬四千七百石	五萬三千百石
累計	六百五十五萬九千三百石	

後場睡かり

▲第一節 當中出來ず先二十二圓五十錢▲第二節 當出來ず中一圓七十一錢より十錢と六丁高に寄付 先五十錢より七十錢▲第三節 當中出來ず先五十一錢より引公定五十二錢▲第二節 當中出來ず先五十錢三錢引公定五十錢▲第三節 當中出來ず先五十三錢の一本値に寄止め

京城正米市場

前日同樣今朝は三等合格廿一圓七十錢地搗上玄二十四圓廿錢廿九圓七十錢見當を唱へ居れるも賣物薄に底堅頗る强硬なり



白米手堅し

白米は大阪方面庭透きにて過般來同方面の注文引合絕へず值段も一時の安值沖寄二十五圓三十錢處より一報每に若干宛の上値に進み來り今日にては二十六圓七八十錢見當を寄すに至りしも此間當に採算の値地少なかりし爲め商談意の如く運ばず時々が殊に今朝入電は前昨六圓七八十錢の持合值段と見當を齎し來れるも比邊漸く賣迄の色あるに過ぎされば八十錢の原料の强關に各精米所共手堅き唱へにて二十四圓六十錢乃至八十錢處の

大豆

小締り人氣を呈しつゝあり 龍山物は南部出廻りの途切れにて河筋物は仁川著の十降雨にて河筋增水の出廻り勝へなり今朝は人氣打ちの觀を呈し二十錢安の仁川著十三圓四十錢原十三圓八十錢安に試み的に賣望みありさ難も些何れも不足ほ見越せる向多く手持筋中止期渡品の切迫に迫れて共筋の崩れ買待納會の切迫に迫れて共筋の崩れ買待ちさいふ振合ひなれば受渡の形勢如何の見定め著く迄は矢張今日の儘惜み狀態に推移すべきかさ

南大門廻穀

金村籾一六九叺▲汝山籾二〇三叺

定期大豆

閑散小甘し

買方一齊見送りとなれる大豆は賣方も氣乘薄の模樣に閑散無活氣に日を過ごしつゝあるが今朝は小口の賣物に當先出來ず中⑨力の買に七十錢さ引締りて大引せり

▲第二節 當先出來ず中三圓六十二錢さ小甘さ寄止め見せり

一節 公定		安値 止め
高値 寄付		
値段 賣入		
取組高	當限 一二二、一五 中限 一三七〇 先限 一三一、〇	
出來高	當限 一萬五千三百石 中限 五千石 先限 二千三百石	
後場	第一節當十三圓十五錢より二十錢さ引締りて	

引公定十八錢

那須仲買店

仁川米豆取引 仲買人
海岸通三丁目
電話長三三二、七六三 電略(〇二)又八二

米穀餘聞

海草さ等しく日和でなくなつた相場は雨が降つて軟くなれば固くなるのが當然であるが其處へ降るべき雨度の降つた今年は植付け難い方面も全くないまゝ此處に於て黃海道が最もさかんに一般朝鮮の稻作は植付け

內地さ異り其の年の凶豐は植付けの順氣如何で其れの位の豐凶の買い方は今日の好況の氣を眺めた弱氣屋さして働まで戾り買りを敢行しようさするのに無理はない▲おまけに正米は未だ內地筋の買氣が鈍から直つて居ないのだから強氣

買方の態度

硬軟主力筋は互に見送り機の熟するを待ちつゝある模樣なるも現物の賣行き面白からざる結果小口の賣物絕へず入り込みて場面は次第弱りの姿を示し居るが併し買方も萬一軟派が賣込み來らんか隙かさず踏む構へを見せ居るが小口の賣物絕へず入り込むと云ふ態度を以て居れば軟派もそれ以上余り弱に乘り難き處あり

大阪期米

	先寄	止め	二節	三節	四節	五節	六節	七節	八節	九節	止め
中寄	二七・四九										
先寄	二八・一二										

○廿四日前場

	前場	二十四日後場
當寄	二六・五三	二六・六四
中寄	二七・四九	二六・九九
止め		二七・五五
先寄	二八・二一	二七・五七
止め		二八・一八
二節	二八・二一	二八・一七
三節		二八・一八

兵庫期米

先寄	二八・二一
二節	二八・二一
三節	二八・二三
四節	二八・二四
五節	二八・二五
六節	二八・二九
七節	二八・二九
八節	二八・二九
九節	二八・二九
止め	

下關期米

	廿四日前場	廿四日後場
寄付	二七・九八	二七・九五
止め	二七・九六	

各地期米

	二十四日前場	二十一日後場
當限 寄付		
中限 止め		
先限	二六・二二	二六・三二

○二十三日後場止め

東京	二七・八八	大阪	二八・一三
兵庫	二七・七九	下關	二六・〇八
桑名	二六・六五	名古屋	二七・〇三
熊本	二五・六七	金澤	二三・八〇

大阪三品

倫敦銀塊相場三十五片八分の一米棉五十錢安

○廿四日前場寄付 前場大引

	前場寄付	前場大引
六月限	三三・一〇	三三・〇〇
七月限	三三・四〇	三三・四〇
八月限	三三・〇〇	三三・九〇
九月限	三三・〇〇	三三・〇〇
十月限	三三・八〇	三三・八〇
十一月限	三三・五〇	三三・五〇

○廿四日後場寄付 後場大引

	後場寄付	後場大引
六月限	三三・四〇	三三・三〇
七月限	三三・五〇	三三・六〇
八月限	三三・〇〇	三三・一〇
九月限	三三・〇〇	三三・〇〇
十月限	三三・五〇	三三・六〇
十一月限	三三・八〇	三三・八〇

○鮮銀勞日報 二十三日現在左の如し
發行高 一六、八六五、三五二、〇〇
正貨準備 四七、九一七、二三九、〇〇
外發行

期株米式 電報通信

京城仁川間私設專用電話架設
京城明治町一丁目(地方通信部)
朝鮮商業通信社
電報料前送懇切敏信迅に付速

仁川正米

前日は雨人氣に壓されて二十一圓五十五錢さ下押しに取引はれたる模樣なるし今朝は定期の下鞘りに特米筋の買狙ひを添へ二十一圓六十錢の買見當なりしも手持筋は七八十錢を主張して賣急がず大豆內地取引不況なるも正米の手堅きに氣丈を唱へ水原標準物十三圓二十錢龍山物十四圓四十五錢平澤十三圓十錢見當なるも七十錢白川十三圓三十錢見當なるも賣物薄の姿なり

釜山正米

內地期米の保合に今市場双方共見送り狀態なりしが精米筋の小口買に强保合を呈し結局三神力廿二日廿錢良廿二圓四十錢所にて二千三百叺の商內ありたり

群山正米

大豆在庫品少なき爲に保合相場を呈し十二圓卅錢所を唱ひたる無商內の狀況なり(廿四日)

七月中限二十二圓〇五錢同末限二十二圓二十五錢九月中限二十二圓三十五錢現物持合

東京期米

	廿四日前場先限	廿四日後場先限
寄付	二七・八五	二七・九六
二節	二七・八九	
三節	二七・八九	
四節	二七・九〇	
五節	二七・九九	
六節	二七・九九	

大阪竹原商店特約店
京城現株取引市場仲買人
新田耕市商店
京城黃金町二丁目市場構內
電話長五七番 一一九六番

天氣豫報

曇

二十四日低氣壓は黃海中部にあり[illegible]て東に進行しつゝあり南仁川

二十五日 京城は概して[illegible]降雨あるも以北は曇天にして南部以南は[illegible]風力一般に弱し二十五日京城は[illegible]ねる曇なるべし

日出 午前五時十分
日入 午後八時五分
高潮(仁川) 午前八時 午後五時十三分

仁川在庫數量

(仁川)六月十八日現在仁川在庫穀類數量は前週に比し二萬三千二百三十石二斗減大豆一萬…

玄米	二萬二百十七叺
入大豆	四斗入八萬七千五百九十四叺
五斗入	七百九十六叺 小豆四斗入一千八百八十一叺
五斗入	百叺 小麥四斗入一千三百四五斗入七百六十四叺
大麥五斗入	百二十四叺
籾	一萬[illegible]

…會社今期の總會を開くべく廿六日夜は鮮人青年有志連より成る新派俳優團を組織し一般に觀覽せしめ傍ら全州面…銀行在庫…

鮮滿一手發賣元
タオル
ハンカチーフ
卸商
エムテー印
立鹿印タオル
白無地專門
諸糸製編物
タオル
上月商店
振替京城五三三一番 京城若草町 電話一〇三五番

ゴム靴の仕入先は
釜山大倉町・大谷ゴム釜山支店

洋服 帽子 新荷
ボタン
京城明治町二 株式會社叶商會

調劑確齋有效保證
大學病院採範方劑
KAZEPIRIN
カゼピリン 解熱 風
樂天堂製藥株式會社

冷藏庫各種
東京大阪及其他各地製
氷突割鋸氷嚢類
氷(發動汽船用碎氷)
氷削器 九州山口縣一手販賣
特約販賣店募集
下關市西細江町
垢木商店
氷商事
振替下關四八番 電話長六〇九番
御一報次第定價表送呈ス

特約店
京城本町五丁目
金物商 村谷京城出張所
電話三七一番
仁川
船具金物 商 本店

土工灌漑用 神藤式自動ポンプ

一時間揚水量	ポンプ口徑	一時間燃料消費料	全揚程	重量
四〇〇石	四時	一升五合	二五尺	五貫
六〇〇石	五時	二升	三〇尺	七〇貫
九〇〇	六時	三升五合	三〇尺	一〇貫

運轉容易試運轉ノ上納入ス
新田組、大倉組、山中商會、志岐組、其他へ納入ス

肺結核特效藥
ネオヨヂノーゲン 第三號
チエコール 第一號
注射劑三回にて咯血盜汗止し食慾增進し千回位にて熱下向し血色良好となりラツセル全止又は衰弱に減少す殊に注目すべきは結核患者の併發せる神經衰弱は多く四五回にて全治し精力充實する事也靜脈注射巧妙なる醫師に注射を乞はるべし
注射代用內服藥にして六%の沃度は推已謀を增多して結核菌を撲滅せしめ配合劑は咯血止爾後肺路血及腸結核豫防の効を上ぐ
詳細說明書治驗例ハガキにて御申込次第進呈
二十日分 三圓六十錢 全國著名藥店にあり
品切の節は發賣元へ御下命を乞ふ(送料不要)
大阪市備後町・東京市米女町
「チヱ」發賣元 高木商店藥品部

推薦廣告
右仁川商業會議所評議員候補者として最適任者と認め推薦す
川井田彌二郎君
仁川運送業組合

衞生殺虫宣傳
(よく御覧なさい 害虫撲滅
呼あつい●戶障子あければ
夜る電燈に小蟲くる●うる
さい事ふけつな事●其れを
皆殺す
●新發明特許の●
成瀨式室內電燈用(殺蟲器)
御望の方はハガキ照ヲ
特約店募集
製造發賣元 東京市淺草區田島町八六
成瀨商會
振替口座東京五三五三一 電話略號ダイシン

曙（あけぼの）

徳田秋聲 作
（挿畫）近藤紫 畫

第一八二回　愛の泉（1）

翌日は小春日和のやうな暖かい好い天氣であつた。裏手の雜木林や、山々がはつきりと浮出てるやうに見えてゐた。もうそこには春の訪れが來てるやうに陽に見氣ゐた。絢子も愛子も、何時もより朝餐を遲くして、食事を濟ましたときには、もう十時になつてゐた。日はずつと高かつたが、日當りの好い其家には、絢子の部屋の前の南面の縁側にまだ日が一杯に溢がつて、實に暖かであつた。

『まあ、好いお天氣ね。こんな日に、山へ遊びに行くと好いわね。お晝から出かけませうか。』

絢子は縁側に出て然ふ言ひながら、愛子を誘つた。

愛子は、しかしまだ何か氣が…かになるやうで、浮かぬ顔をして幽かに笑つてゐた。

『小山は奈何してゐでせう？屹度探してるでせうね。婆やの話では大旦那に叱られて、直ぐ東京へ歸つた筈だと言つてたけれど、まだ酒匂に愚圖〜〜してるんでしよね。』

『はあ、あの宿屋にゐるでございませう。』愛子は有繋に、男のことが忘れられないといふやうな、思ひに沈んだ表情をしてゐた。

『それで、あなたは塔の澤の方はよくて？歸らなくても……』

『はあ、女中頭の人に内所にして貰つて、出て參つたんですけれど、酒匂から直手紙を出しときましたから……』

少時そんなことを二人は話してゐたが、絢子はやゝあつて、

『まあ、ほんとに好かつたわね。昨夜若し私が彼處で、あなたに會はなかつたら……今頃はもうあなたは、此世にゐない人かも知れないわねえ。』と、感慨深さうに言ふのであつた。

『ほんとでございますわ。奥さまが命の恩人でございます……。私、それを思ふと夢のやうな氣がいたします。昨夜は何うしてあんな氣になつたでせうと、考へても悚然といたしますわ。』愛子は幽かに身を悚はして、吻と溜息を吐いた。

『まあ、恩人だなんて、そんなこと……。』と、絢子は相手の辭を打消して『もうそんな話は止しませうね。思つても厭でせう……それよりか、これから先のことをお互に考へませう。私も及ばずながら、出來るだけ相談に乘りますわ。かうして偶然にあなたに會つたのも、何かの御縁でせうからね。』

『何分よろしく、お願ひ申上げます。』愛子は更まつた口調で丁寧にお辭儀をした。

『何も相談ですけどね、あなた愛子さん、もうそんな仕事は止して、堅氣な御奉公をしては奈何？』絢子は白井の家のことを思ひ出したのであつた。『そして早く身を固めなくちや、お母さんだつて、心が安まらないでしよ。』

『はあ、それは私も考へないではございませんのですけれど……。』

『若し、あなたに其の氣があればね、私好い家をお世話しますわ。』と言つて、絢子は白井の家のことを、簡單に話した。

『は、白井さんなら、小山から聞いたこともございます。……でも、私のやうなものが、今になつて堅氣な御奉公は、出來

受容れようとしなかつた。

『そんなことないわ。それあね收入は今の半分もないでせうけれど、身の爲めよ。自分の先の爲よ。ね、然うでせう。あなた何う思つて？』と、絢子は熱心に言つて『そして、誰か好い人があつたら結婚することよ。小山がね、もつと何うかしてると可いけど、あなたの前だけれど、あれぢや將來の見込がなくてねえ。』

『はあ……。』愛子は淋しさうに俛いた。

それから午後になると、絢子は熱心に愛子を脩めて、裏の小山へ遊びに行つた。

そして、二時間ばかりも面白く遊んで、疲れた足を引摺りながら歸つて來ると、意外にもそこに白井が東京から來て、自分の歸りを待つてゐたのであつた。今日は土曜日だといふので、白井は會社が退けると、直一泊の豫定でやつて來たのであつた。

ようこ然う思ひますわ。』然う言つて、愛子は直に絢子の辭を

皮徽科 外科 專門　京城太平通二丁目　扇田醫院　電話二三五八番

皮徽科（診察夜九時迄）（皮徽 淋疾 瘡 病毒病 入院隨意）京城明治町二丁目　佐藤醫院　電話一壹七參

川柳　劍花坊選

新世帶
○行きちがふ人が氣になる若夫婦　京城　綠翠
○新世帶七道具を用意する　公州　新參
○小說のやうにいかない新世帶　宮邊　貞久
○若夫婦[illegible]時の客を持て餘し　三浪津　水蔭
○新世帶折々覗く里の母　鳥致院　堤柳
昇給になると生れる若夫婦

新刊紹介

▲朝鮮及滿洲（六月號）　内鮮人融和問題の現在と將來及朝鮮人教育の根本方針に就て釋尾社長總督政治に就ての希望朝倉外茂鐵副稅政正の鮮工業政策賀田直治音樂上より見たる内鮮の關係田邊尚雄其他（五十錢京城永樂町二其社）
▲青年及青年團（六月號）　獨逸青年團の目的田澤博士青年の修養に就て浦谷講師血と涙の日蓮聖人五樂齋犧牲的精神 根本發モーリス、アイン外其他（三十錢東京四谷愛住町青年社）
▲獄答評論（四の六）　三十錢東京神田錦町一其社
▲養鷄と園藝（發兎號）　三十五錢兵庫縣武庫郡鳴尾其社
▲新國民（六月號）　十五錢東京神田駿河臺袋町六日本國民中學會
△ジャパンタイムス學生號（二十五錢東京麴町内幸町一共用販所）
▲電氣之友（五二二）　二十錢東京京橋區南金六町電友社
▲朝鮮遞信協會雜誌（三七）　二十五錢京城光化門通遞信局
▲神戸高等商業學校商業研究所一覽　非賣品神戸高等商業學校
▲商業研究所講演集（第二輯）　三十錢京都下京區北小路通新町西入内外出版株式會社出版部

出版物に關する紹介は總て本社記者部宛の事

演藝案内

喜樂館　本町一丁目　電話五九七番（有樂館改稱）
當る六月廿四日より三大映畫提供
日活京都派特別作品　滑稽輕業中毒　實寫北洋の漁獵
史劇　小楠公　百十四場
小楠公は數千人の登場者を見たる日本物として未曾有の大仕掛にて東都教育界に多大の喝采と感化を與へたる大史劇なり
米國セルヅニツク特作品　最終篇　大旋風　六卷
二ケ月に亘る電光石火の大爭闘は茲に最後の輪迴を快せんとす
吉か凶か人それ〴〵の運命や如何　第十三篇獅子檻、第十四篇秘密の郵　第十五篇日嫁の紛失
日活第一部傑出作品　新派悲劇　運命の陰　全六卷
何不自由なき家庭に生れ繼母の冷酷なる妹の無情に虐られ異郷の空にゆろ兄、探窓に泣く姉……待憧れた兄の歸りを待たず彼女は狂人となつた嗚呼薄命なる兄よ妹よ　平安利國の上を踏めば此の日一に接す
特別番外餘興　支那人大曲藝一行出演
○毎日晝夜開館○毎週金曜寫眞差替（料金普通）

大正館　櫻井町　電話八七三
日本活動寫眞株式會社直營代理店
當六月廿四日より新鮮麗映畫提供
實況　ペティ週報第九三號　長尺
滑稽　怪我の手柄　長尺
實寫　福岡縣二島月米硝石會社　最長尺
□新派悲活劇　火中の美人　全五卷
三宅晉輔氏の原作にして至大の成功を收めたる冒險活劇は現代唯一の傑作
△米國パラマウント會社秀作映畫
□大活劇　西名探偵の苦心　全五卷
印代辯祭撥行使は探偵の活眼に待つ事大なり名探偵○○氏は其頃米國市民をして太なる恐怖せしめたる大膽漢を如何して捕縛せんとするか
△日活京都派二部員革新喜劇
□絶倒　浮世床　全三卷
浮世の苦勞も何のその江戸つ子氣質を看板に爲主の仇討に助力して出度く目出度し
△日活京都派二部員革新喜劇第二
□大悲喜劇　芝濱の革財布　全三卷
魚屋渡世の熊五郎酒に心を奪はれ苦しむ女房の心痛見かね……
△毎月一日十五日日曜祭日晝夜二回

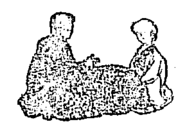
黄金館　黄金町　電話一六二七
當る六月廿三日より特別大寫眞公開
大野球戰（實況）　市川海老十郎一行
△舊劇　黑田騷動　全五卷　ゴーモン會社特別作品

△大史劇　アッチラ　全七卷
見よゴーモン會社の特作映畫巨額を投じて作年十月撮影にかゝり漸くにして本年早々完成したる大史劇如何に愛活家をして熱狂せしむるか
△新派悲劇　寒湖鳥　全五卷
更渡る夜月湖畔に小舟を浮べ一人の乙女は我が淺間敷思ひ出し涙と共に流され行く『君と別れて小舟で行けば波のしづくか涙やら』と船歌を
△實演　講談士連中總出　勸平の裁判　全二場
勸平（南鄉）堀部桃九郎（非澤）妹護人（後藤）石地蔵（大王定）佐田母おかや（市川）千鳥（衣川）おかる（小松）（吉澤）
特に入場料普通

浪花館　明治町　電話二六〇番
七月一日より開演
京阪落語　三遊亭門左衛門　他廿余名
女道樂、義太夫、手踊、音曲、其他諸藝アリ

壽館　本町二丁目　電話七八五
第一　喜劇　娘節分
第二　舊劇　靈驗記
第三　社會劇　上り公
第四　笑劇　狂ひ咲

てんかん　子供のヒキツケ
永年の病も自宅で最も早く治す　實驗を無代で數切手三錢送れ
名古屋市中區南小川町　數生館

男も女も心得置くべき
人を引附ける　座談の秘訣
▽人を說き落す法、談判交渉、貸金の取立
▽其他社交上必要な一切の秘訣を網羅す
男女の交際

特價　至急申込みあれ　三光社

內科 小兒科　小林病院　院長 醫學士 小林千壽　京城旭町一丁目（電話九六二番）　入院隨意 傳染病室 隔離病室

紺地絣（こんぢかすり）　一反の代 參圓三拾錢
東京市日本橋區本石町一丁目 呉服問屋……
（振替 ハガキで申込まれたし）

サック　不思議な寫眞で愉快を進上　最上良質 男女ゴム
特製上一打　男子用○珍具　女子用○具
大阪市北區中江町　玉出堂　振替大阪五一六五四

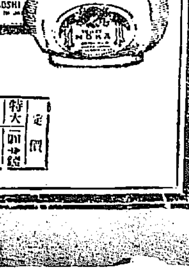
仁川本町　白神洋行　洋鐵鋼、諸機械　工具附屬品一切
金物商　月刊物價表 御申越次第進呈
京城南大門外　白神洋行支店　平壤本町

新療法 プロヘリン錠
△七日分金一圓七十錢　△十五日分金三圓二十錢　△一月分金六圓
本劑は服むだけ血と肉を殖やし旺盛なる精力の源泉となり○腦神經衰弱及び諸器械的障害を完全に治癒せしむる卓効薬なり
京城黄金町一丁目五十五番地　新療法京城支部　京城振替五四三九

上田寫眞機店出張店　寫眞機械器具附屬品一式　平壤本町　電話二弐一番

內科 胃腸病　診察夜九時迄　石川醫院　京城本町一丁目　電話一三九〇番

眼科專門　金井眼科醫院　京城若草町（黄金町通り新道路中程）　電話一五五六　入院隨意　日曜祭日診察午前中



定價　特大一圓廿錢　大六十錢　小卅五錢　送料六錢
全國到る所にあり品切の節は三錢郵券又は振替にて直接本舗へ御注文下さい
東京神田和泉橋際　堀越嘉太郎商店　電話神田一四三・一四四・一四五　振替東京一一五六

TEXACO
急告
今回左記之通リ支店設置致候間此段謹告候也
營業品目
幸福及星印石油。揮發油。機械油。ルーフヰング類
仁川海岸町一丁目 英商ベンヂツト商會内
米國テキサス石油會社
總支配人ウォールター・ジョージ・ベンヂツト
鮮内各樞要地ニ一代理店ヲ限リ募集ス

牛乳代用 營養品
母乳代用として乳兒の發育に……卓効を奏す
牛乳に勝る營養價を有する
キノシール
●甘味を有し砂糖を要せず
●牛乳特有の臭味を持たず
●湯さへ有れば直に乳と成る
●乳兒病者老人の最適營養
說明書・見本郵呈　全國信用ある藥店又は食料品店に販賣

大印發賣元 シツカロール發賣元　株式會社和光堂京城支店　京城本町二丁目

京釜線 [illegible]
京仁線 [illegible]
大正十年六月一日